

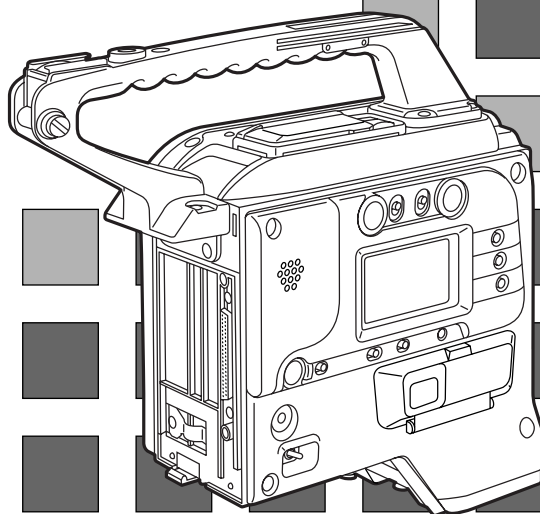
# Panasonic

**DVCPRO 50**

Digital Video Cassette Recorder

AJ-D90

取扱説明書



ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと大切に保管し、わからないときは再読してください。

上手に使って、上手に節電  
ご使用後は、忘れずに電源スイッチを切ってください。

# ご不要になったニカド電池は リサイクルへ



本製品にはニカド電池を使用しており  
ます。

ご不要になったニカド電池は、貴重な資  
源を守るために廃棄しないでリサイクル  
にご協力ください。

## 電池仕様

ブランド	<b>Panasonic</b>
型番	AU-BP402
名称	充電式ニカド電池
電圧	1.2V
容量	4.4Ah

## 保証書別添付

保証書は必ず「お買い上げ日・  
販売店名」等の記入を確かめて、  
販売店からお受取りください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの  
際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめくださ  
い。

著作権（録画テープの取扱い）

あなたがビデオで録画したテープは個人として楽しむ  
ほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

次の点にご留意ください。

- ・大切な録画（結婚式など）の場合は、必ず事前に試  
し撮りし、正常に録画・録音されていることを確認  
してください。
- ・ビデオカメラ、本機およびテープの使用で、万一こ  
れらの不具合により録画されなかった場合の録画内  
容の補償についてはご容赦ください。

## 目次

安全上のご注意	3	タイムコード信号の設定	30
使用上のご注意	9	ユーザズピット (リアルタイムを含む) の設定	32
概要	9	外部タイムコードに内部タイムコード ジェネレーターをロックさせる	33
特長	9	つなぎ撮り時のタイムコードの連続記録	34
システム構成	10	タイムコードの再生	34
構成	11	設定メニュー画面	35
各部の名称と機能	12	警告システム	40
カメラの組み立て	17	EMERGENCY イジェクト	42
カメラの取り外し	18	エラーコード	42
電源の供給	19	メンテナンス	43
アントン・パワー製バッテリーパック の使用	19	撮影前の点検	43
パナソニック製バッテリーパック AU-BP402の使用	20	接続カメラによって変わる機能の一覧	46
ソニー製バッテリーパック NP-1 の使用	21	接続端子の信号	47
ソニー製バッテリーパック BP-90 の使用	22	バックアップ用電池の交換	48
AC電源の使用	23	アフターサービス	49
カセットテープの挿入 / 取り出し	24	定格	50
通常収録	25		
音声の記録	26		
ファントムマイクの取扱い	26		
パワーセーブモード	27		
再生	28		
音声のモニター	29		
映像のモニター	29		

# 安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



## 警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



## 注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

(下記は、絵表示の一例です。)



このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

### 設置について



## 警告

不安定な場所に置かない！



禁止

落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。

コードに重いものを載せない！



禁止

本機の下敷きにならないよう注意してください。  
コードが傷ついて、火災・感電を起こすおそれがあります。

水場に設置しない！



水場使用禁止

火災・感電の原因となります。

ぬれた手で、プラグの抜き差しはしない！



禁止

感電の原因となります。

付属品・オプションは、指定の製品を使用する！



本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こすおそれがあります。

# 安全上のご注意

必ずお守りください

## 使用方法について

### 警告

機器の開口部から異物を差し込んだり、落とし込んだりしない！



火災・感電のおそれがあります。

禁止

本機を改造しない！



火災・感電の原因となります。

分解禁止

表示された電源電圧以外は、使用しない！



火災・感電のおそれがあります。

禁止

コード・プラグが破損するようなことはしない！傷つけたり、加工したり、高温部に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない！



傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

禁止

- コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店に、ご相談ください。

機器が濡れたり、水が入らないようにする！



火災・感電のおそれがあります。  
雨天・降雪・海岸・水辺での使用は、特にご注意ください。

禁止

水場で使用しない！



火災・感電の原因となります。

水場使用禁止

本機の裏ぶた・キャビネット・カバーなどを外さない！



感電の原因となります。

分解禁止

- 点検・整備・修理は、お買い上げの販売店に、ご相談ください。

指定のカバー以外は、外さない！



感電の原因となります。

分解禁止

- 点検・整備・修理は、お買い上げの販売店に、ご相談ください。

## 異常時の処理について

### 警告

本機を落としたり、破損した場合は、電源スイッチを切り、プラグを抜く！



プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電を起こすおそれがあります。

本機を落としたり、破損した場合は、電源スイッチを切り、バッテリーを外す！



そのまま使用すると、火災・感電を起こすおそれがあります。

本機の内部に水などが入った場合は、電源スイッチを切り、プラグを抜く！



プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電を起こすおそれがあります。

# 安全上のご注意

必ずお守りください

## 異常時の処理 について

## 警告

本機の内部に水などが入った場合は、電源スイッチを切り、バッテリーを外す！



そのまま使用すると、火災・感電を起こすおそれがあります。

本機の内部に異物が入った場合は、電源スイッチを切り、プラグを抜く！



そのまま使用すると、火災・感電を起こすおそれがあります。  
プラグを抜く

本機の内部に異物が入った場合は、電源スイッチを切り、電源バッテリーを外す！



そのまま使用すると、火災・感電を起こすおそれがあります。

- お買い上げの販売店に、ご相談ください。

煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態の場合は、電源スイッチを切り、プラグを抜く！



火災・感電の原因となります。

プラグを抜く

- お買い上げの販売店に、修理をご依頼ください。

煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態の場合は、電源スイッチを切り、バッテリーを外す！



火災・感電の原因となります。

- お買い上げの販売店に、修理をご依頼ください。

コードが傷んだ場合は、交換を依頼する！



そのまま使用すると、火災・感電を起こすおそれがあります。

- お買い上げの販売店に、ご相談ください。

## 乾電池/バッテリー について

## 警告

乾電池/バッテリーを分解・加熱しない！  
火中・水中に投げ入れない！



禁止

ショートや破裂、液漏れなどを起こし、けが・やけどをするおそれがあります。

乾電池/バッテリーは、極性(+)、(-)を正しくつなぐ！



間違えると、乾電池の破裂、液漏れにより、火災・けが、周囲の汚染原因となります。

機器使用の乾電池/バッテリーを、お子さまの手の届く所に置かない！



禁止

電池は、お子さまの手の届かないところに置く。

- 万一、飲み込んだ場合は、医師に相談してください。

# 安全上のご注意

必ずお守りください

## 設置について

## 注意

コードを熱器具に近づけない！



コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

油煙や湯気が当たる場所に置かない！



火災・感電の原因となることがあります。

禁止

湿気やほこりの多い場所に置かない！



火災・感電の原因となることがあります。

禁止

本機の通風孔をふさがない！



通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。  
次のような使い方は、しないでください。

禁止

- 本機を風通しの悪い所に押し込む。
- テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置く。

ぬれた手でコネクタを抜き差ししない！



感電の原因となることがあります。

禁止

コネクタを抜くときは、コードを引っ張らない！



コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

- 必ずコネクタを持って抜いてください。

コードやショルダーベルトを下にたらさない！



ふれたり、引っかけたりすると、落ちてけがをするおそれがあります。

禁止

# 安全上のご注意

必ずお守りください

## 使用方法について

## ⚠ 注意

<p>本機の上に重い物を置かない！</p> <p> バランスがくずれて、落下し、けがの原因となります。</p> <p>禁止</p>	<p>カセットテープ挿入口に、手をはさまれないように注意する！</p> <p> けがの原因となります。</p> <p>指に注意</p>	<p>長期間使用しないときは、安全のためプラグを抜く！</p> <p> 火災の原因となることがあります。</p> <p>プラグを抜く</p>
<p>長時間使用しないときは、安全のためバッテリーを外す！</p> <p> 火災の原因となることがあります。</p>	<p>移動させる場合は、電源スイッチを切り、プラグを抜き、外部の接続コードを外す！</p> <p> コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>プラグを抜く</p>	<p>運転中、運転者は操作や鑑賞をしない！</p> <p> 操作・鑑賞をする場合、必ず車を停止させて行ってください。</p> <p>禁止</p>
<p>走行中・歩行中は、ファイインダーの再生画を見ない！</p> <p> 事故誘発のおそれがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>専用 AC アダプター以外は、使用しない！</p> <p> 定格外の AC アダプターを使用すると、火災の原因となることがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>本機に乗らない！</p> <p> 倒れたり、壊れたりし、けがの原因になります。</p> <p>禁止</p>
<p>雷が鳴り出したら、使うのをやめる！</p> <p> 落雷すると、感電死につながります。</p> <p>接触禁止</p>	<p>使用時は、安定した場所と、十分な体勢を確保する！</p> <p> けがや死亡につながります。</p>	<p>不安定な場所で、三脚を使わない！</p> <p> 足などの上に倒れると、けがをするおそれがあります。</p> <p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 足などを引っかけないように、ご注意ください。</li></ul>

# 安全上のご注意

必ずお守りください

## お手入れについて

### 注意

お手入れの際は安全のため、電源スイッチを切り、プラグを抜く！



火災・感電の原因となることがあります。

プラグを抜く

お手入れの際は安全のため、電源スイッチを切り、バッテリーをはずす！



火災・感電の原因となることがあります。

1年に1度ぐらいは、販売店に内部の掃除の相談を！



本機の内部にほこりがたまったら、使用し続けると、火災・故障の原因となることがあります。

## 乾電池/バッテリーについて

### 注意

指定外の乾電池は使用しない！



禁止

乾電池の破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となるおそれがあります。

指定外のバッテリーは使用しない！



禁止

バッテリーの破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となるおそれがあります。



# 使用上のご注意

---

## 振 動

振動の多い場所での使用は避けてください。

## 周囲温度

0 ~ +40 の温度範囲で動作します。この範囲外で使用したときは互換特性に差異が生じたり、正常に動作しない場合があります。機器の寿命を縮めることになりますので十分ご注意ください。

## 雨、湿度、ホコリ

雨中、または高湿度中でのご使用は差し控えてください。機器内に結露し、故障の原因になります。ホコリの多い場所では、内部に入り込み、特に本機の特性を劣化させますのでご注意ください。

## 取り扱い

落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因になります。また、カセットホルダーを上げた状態で機器の中に物を入れないでください。

## 強電界、強磁界

極端な強電界、強磁界中では画面または音声に妨害を生じることがあります。ご注意ください。

---

## 概要

---

本機は、圧縮技術を搭載した DVCPRO フォーマットのドッカル VTR です。記録レートは、より高画質の 50Mbps と記録時間の長い 25Mbps に切り替えることができます。50Mbps の記録では極めて高画質の画像が記録できます。

また本機は、小型で軽量、低消費電力に優れ、高画質、機動性、防塵、防湿性に優れており、ENG 用としてもご使用いただけます。

---

## 特長

---

### デジタル方式

最新の圧縮技術を採用したコンポーネントデジタル記録方式で音声は非圧縮の PCM 記録で、S/N、周波数帯域、波形特性、微細部分の再現特性などに優れ、一層の高画質化、高音質化を実現しています。

### 50M/25M スイッチャブル

50Mbps と 25Mbps の 2 種類の記録・再生が選択可能です。

### レックレビュー機能

記録した最後の約 2 秒間を、自動的に巻き戻して再生しますので、記録内容の確認を速やかに行うことができます。

### 再生機能

再生画像（白黒画像）をビューファインダー画面で見ることができます。また、本体の VIDEO OUT 端子からカラーモニターでカラーの再生画像を見ることができます。

### タイムコードジェネレータ / リーダー内蔵

タイムコード情報を記録し、再生することができます。

### タイムコードの外部ロック


内蔵のタイムコードジェネレータを、外部のジェネレータにロックさせることができます。また、内蔵のタイムコードジェネレータのバックアップ用電源としてリチウム電池を使用しているため、本機に電源を供給しない状態でも約 1 年間バックアップが可能です。

# 特長

## DOLBY NR システム内蔵

音声の長手方向の記録用ドルビー B 回路を内蔵しています。

ドルビーノイズリダクションは、ドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。

ドルビー、DOLBY およびダブル D 記号  はドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションの商標です。

## つなぎ撮り

VTR START ボタンまたはレンズの VTR ボタンを押すだけで、+1 フレーム以内の精度でつなぎ撮りができます。

## VTR 部の状態を示す警告システム

各種警告ランプと警告音で、VTR の異常や、テープエンド、バッテリー消耗などを知らせます。

## ワーニング機構

シリンダーサーボやキャプスタンサーボの乱れ、テープのたるみや停止、結露現象などが起こった場合、ワーニング機構が働き、ランプや警告音で知らせます。

## 設定メニュー機能

工場出荷時の本機は、標準モードで設定していますので、そのままご使用いただけます。

さらにユーザーがより使いやすいシステムを構築できるように、設定メニューで本機の設定を変更できる機能を備えています。

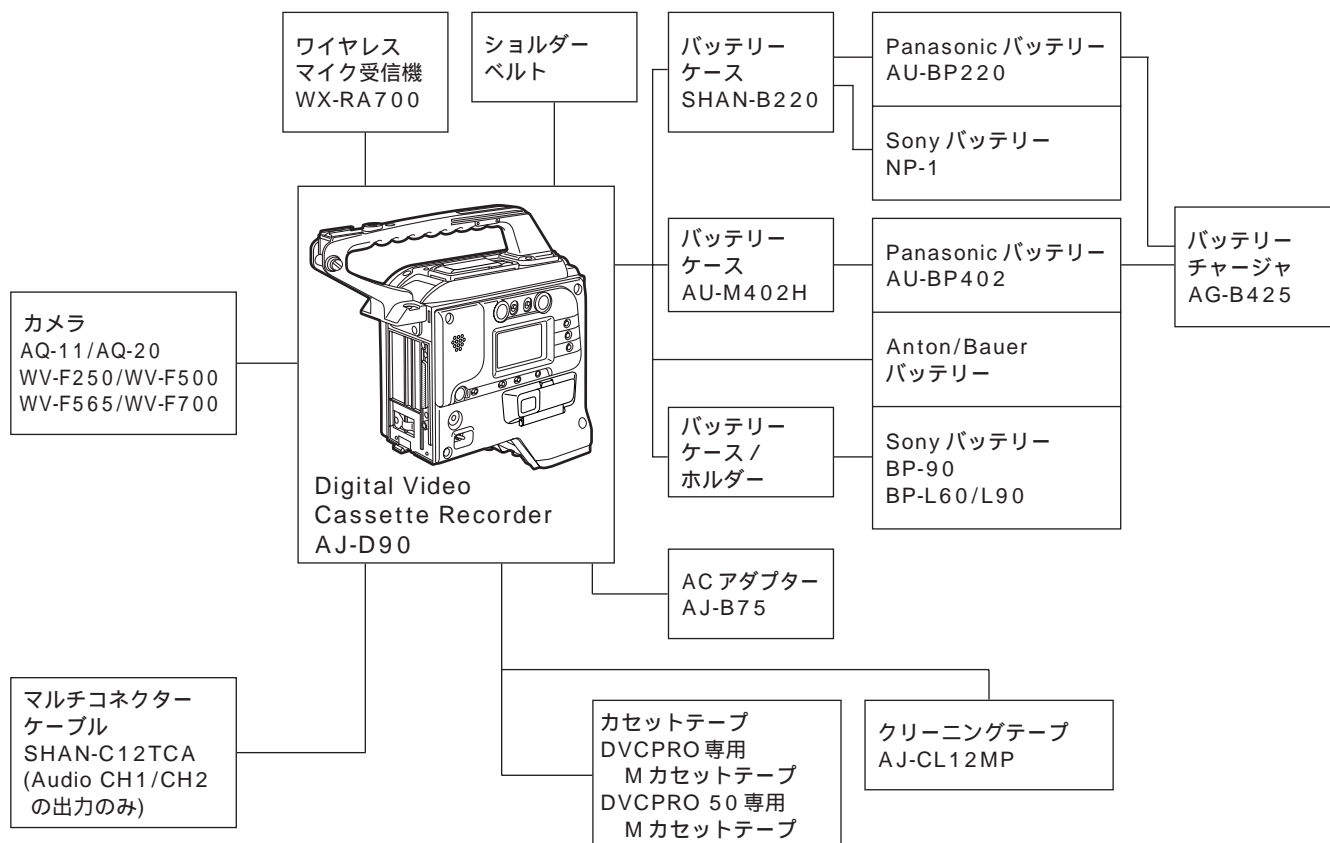
## ファントム電源

CH1 と CH2 のオーディオ入力にファントム電源 (+ 48V) を供給することができます。

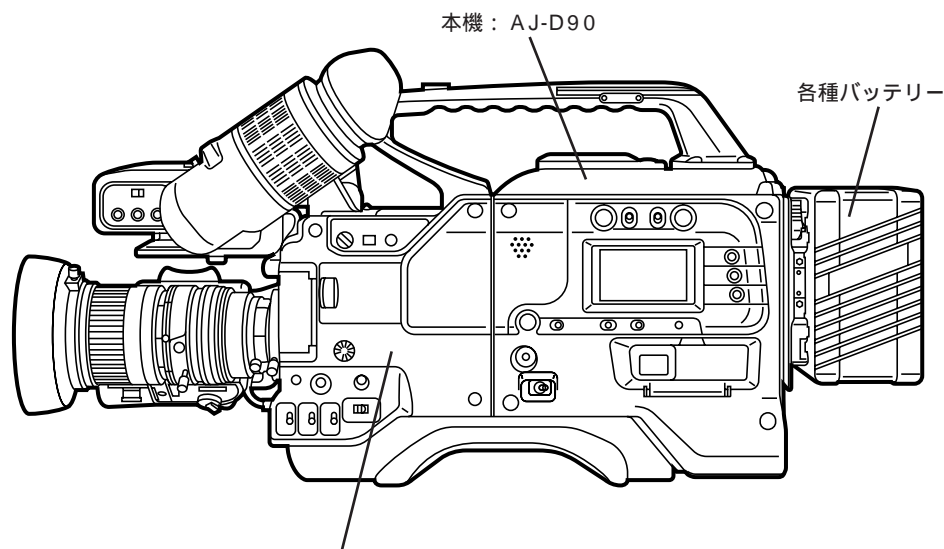
## モード表示ランプ

再生、早送り、巻戻し、および記録のモードがランプ表示されます。

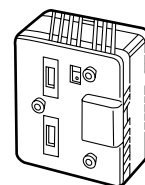
# システム構成



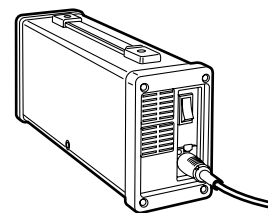
# 構成



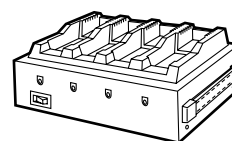
AJ-D90 に適合するカメラをご使用ください。



Anton/Bauer  
バッテリー  
(別売品)



AC アダプター  
AJ-B75  
(別売品)



バッテリーチャージャー  
[Anton/Bauer バッテリー用]  
(別売品)

## 本機に接続可能なカメラ

- AQ-11 <sup>注1)</sup>、● AQ-20 <sup>注1)</sup>  
[松下電器産業株式会社製]
- WV-F250 <sup>注2)</sup>、● WV-F500、● WV-F565、  
● WV-F700S <sup>注3)</sup> [松下通信工業株式会社製]

注1) AQ-11 または AQ-20 をご使用のときは、カメラドッキングアダプター STEN-IF45HDL を接続してください。

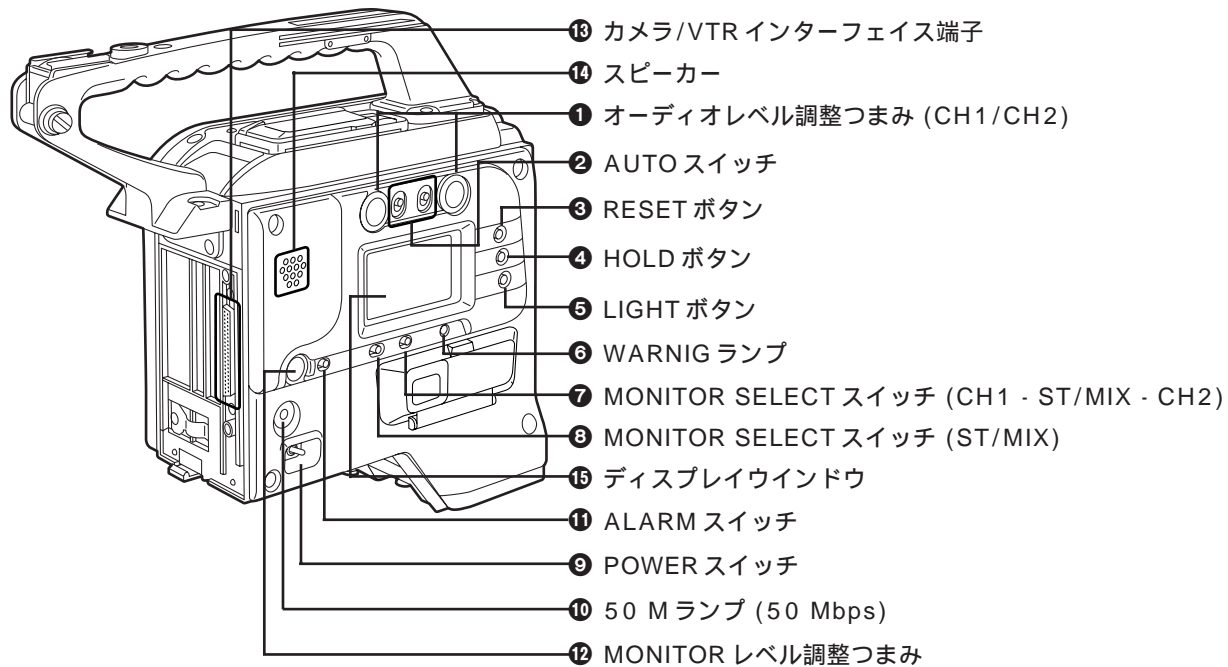
注2) WV-F250 をご使用のときは、記録時に映像出力端子からのコンポジット映像信号は出力されません。

注3) WV-F70 は使用できません。

この取扱説明書では、WV-F565 (松下通信工業株式会社製カメラ) と接続したときの動作を説明していません。その他のカメラでは、一部ご使用できない機能があります。詳しくは 46 ページをご覧ください。

本機内部には、リアルタイムおよびタイムコード FREE RUN のバックアップ用にリチウム電池を内蔵しています。電池の寿命は約一年です。電源を入れたときに “BACK UP BATT EMPTY” の表示が出るときは、販売店に相談して新しいリチウム電池と交換してください。

## 各部の名称と機能



### ① オーディオレベル調整つまみ (CH1/CH2)

オーディオレベルを調整するときは、レベルメーターを見ながら CH1(CH3)<sup>注1)</sup>、CH2(CH4)<sup>注1)</sup> の調整つまみを回し、各チャンネルの入力音量を調整します。

注1) 50Mbps モード時 CH3 には CH1 と同じ音声  
が記録され、CH4 には CH2 と同じ音声  
が記録されます。

### ② AUTO スイッチ

ON : CH1 と CH2 の録音レベルが自動調整になります。この位置ではオーディオレベル調整つまみが動きません。

OFF : CH1 と CH2 の録音レベルが手動になります。

### ③ RESET ボタン

ディスプレイウインドウの表示がカウンターまたは TCG (タイムコードジェネレーター) 設定モードのときにこのボタンを押すと、表示が「0」にリセットされます。

### ④ HOLD ボタン

このボタンを押すと、ディスプレイウインドウのカウンタ部に表示されているデータが保持されます。

再度押すと、モードが解除されます。

### ⑤ LIGHT ボタン

このボタンを押すごとに、LCD (液晶パネル) 照明の ON/OFF を切り替えます。

### ⑥ WARNIG ランプ

エラーが発生したときに、点灯または点滅します。

### ⑦ MONITOR SELECT スイッチ (CH1 - ST/MIX - CH2)

スピーカー ⑭、PHONE 端子 ⑬、AUDIO OUT 端子 ⑫ の音声を切り替えるスイッチです。

CH1 : CH1 の音声モニターできます。

ST/MIX : ⑧ のスイッチで切り替えた音声モニターできます。

CH2 : CH2 の音声モニターできます。

### ⑧ MONITOR SELECT スイッチ (ST/MIX)

PHONE 端子 ⑬ の音声を切り替えるスイッチです。

ST (STEREO) :

PHONE 端子 ⑬ の音声をステレオにします。

スピーカー ⑭ と AUDIO OUT 端子 ⑫ はミックスされた音声が出ます。

MIX : すべての音声をミックスします。

### ⑨ POWER スイッチ

カメラと本機の電源 ON/OFF スイッチです。

### ⑩ 50 M ランプ (50Mbps)

DVCPRO 50Mbps モードで使用する場合、このランプが点灯します。

### ⑪ ALARM スイッチ

警告音を鳴らしたいときは「ON」にします。

# 各部の名称と機能

## 12 MONITOR レベル調整つまみ

オーディオモニター用音量調整コントロールです。  
ただし、警告音の音量調整はできません。

## 13 カメラ/VTR インターフェイス端子(68ピン)

カメラと本機をつなぐ端子です。

## 14 スピーカー

音声モニターできます。

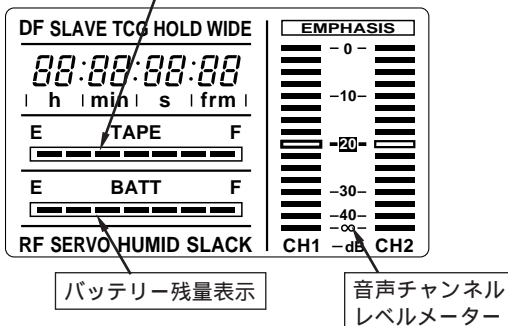
- PHONE 端子 ⑬ にイヤホンを接続すると、スピーカーの音声は自動的に切れます。
- WARNING ランプの点滅に応じて警告音が出ます。
- モニターするチャンネルの選択は、MONITOR SELECT スイッチ ⑦で行います。

## 15 ディスプレイウインドウ

### ● ディスプレイウインドウの表示

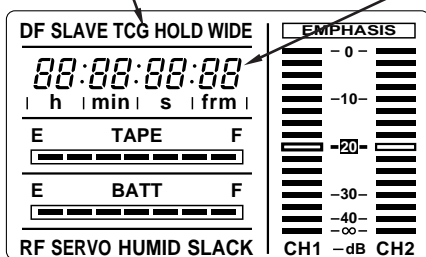
バッテリー残量、音量レベルの表示

テープ残量表示  
テープ残量が30分以上の場合は、「F」の位置までセグメントが7個点灯します。  
テープ残量が30分未満より、5分ごとにセグメントが1個ずつ消えていきます。



### 本機の動作や状態に関する表示

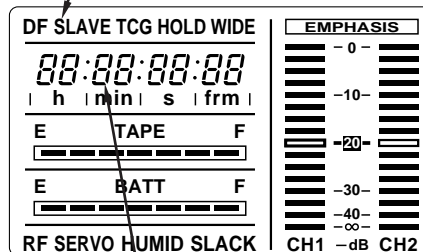
点灯  
DF/SLAVE/TCG/HOLD/WIDE エラーコード



警告表示  
RF: ビデオヘッドの目詰まり時に点灯。  
SERVO: サーボが乱れたときに点灯。  
HUMID: ヘッドドラムに結露が発生したときに点灯。  
SLACK: テープの巻き取り異常時に点灯。  
詳しくは「警告システム」(40ページ)をご覧ください。

### タイムコードに関する表示

タイムコード、CTL、実時刻表示のとき点灯。  
DF: ドロップフレームモードのときに点灯。  
SLAVE: タイムコードの外部ロック中に点灯。  
HOLD: タイムコードジェネレーターがホールドされているときに点灯。  
(HOLD ボタンが押されたときに点灯。)  
WIDE: アスペクト比 16 : 9 で記録/再生したときに点灯。



タイムカウンター表示  
タイムコード、CTL、ユーザーズビット、実時刻を表示。

- 表示される項目とスイッチの設定との関係については、次項をご覧ください。

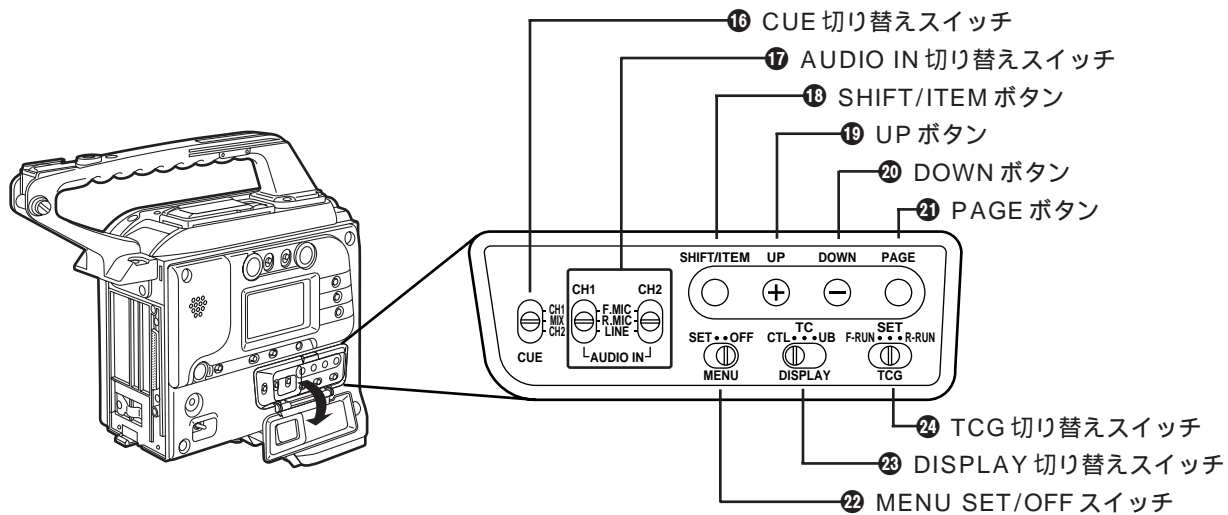
### ● TCG、DISPLAY 切り替えスイッチの設定位置と、タイムカウンターの表示との関係

タイムカウンター表示に関しては、TCG 切り替えスイッチ、次に DISPLAY 切り替えスイッチの設定によって表示項目が決まります。

タイムコード関連スイッチの設定と表示項目

TCG 切り替えスイッチの位置	DISPLAY 切り替えスイッチの位置	表示される項目
SET	TC または CTL	タイムコード
	UB	ユーザーズビット
F-RUN または R-RUN	CTL	CTL
	TC	タイムコード
	UB	ユーザーズビット

## 各部の名称と機能



### 16 CUE 切り替えスイッチ

CUEトラックへの記録信号の切り替えを行います。  
 CUE: CH1 の信号を記録します。  
 MIX: CH1 と CH2 のミックス信号を記録します。  
 CH2: CH2 の信号を記録します。

### 17 AUDIO IN 切り替えスイッチ

CH1 と CH2 の音声入力を切り替えるスイッチです。  
 F.MIC: カメラに装着したマイクロホンからの音声信号を記録するとき。  
 R.MIC: AUDIO IN CH1/CH2 端子からのマイク入力信号を記録するとき。  
 LINE: AUDIO IN CH1/CH2 端子からのライン入力信号を記録するとき

### 18 SHIFT/ITEM ボタン

このボタンを押すごとに、表示中の設定メニューのページ内でカーソルが移動します。設定項目を選択するときに使用します。  
 <ノート>  
 このスイッチの動きは、操作する項目によって異なります。  
 各項目ごとのメニュー操作で確認してください。

### 19 UP ボタン

このボタンを押すごとに、設定メニューで選択した項目の設定値を一段上げたり、設定の「ON」と「OFF」を切り替えます。

### 20 DOWN ボタン

このボタンを押すごとに、設定メニューで選択した項目の設定値を一段下げたり、設定の「ON」と「OFF」を切り替えます。

### 21 PAGE ボタン

設定メニューのページを切り替えるときに使用します。

### 22 MENU SET/OFF スイッチ

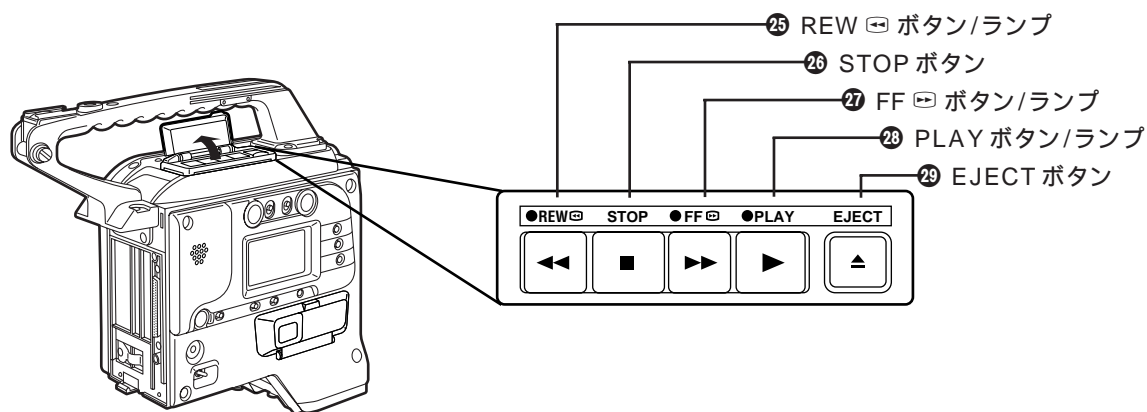
設定メニュー表示の切り替えを行います。  
 SET: ビューファインダー画面内および VIDEO OUT に、設定メニューを表示します。  
 (前回に、設定メニューの操作を終了したページが表示されます。初めてメニュー操作を行うときは、表示可能な先頭ページが表示されます。)  
 OFF: ビューファインダー画面内および VIDEO OUT に、設定メニューが表示されません。

### 23 DISPLAY 切り替えスイッチ

CTL: CTL カウンターをディスプレイウインドウに表示をするときにこの位置にします。  
 TC: タイムコードデータの設定や、ディスプレイウインドウへの表示をするときにこの位置にします。

UB: ユーザーズビットデータの設定や、ディスプレイウインドウへの表示をするときにこの位置にします。

## 各部の名称と機能

**24** TCG 切り替えスイッチ

内蔵タイムコードジェネレーターの歩進モードを設定します。

**F-RUN** : 本機の操作に関係なく、連続してタイムコードを歩進させるときに使用します。タイムコードを実時刻に合わせたり、タイムコードを外部ロックさせるときなどこの位置にします。

**SET** : タイムコードやユーザーズビットを設定するときにこの位置にします。

**R-RUN** : 記録中に限り、タイムコードを歩進させるときにこの位置にします。つなぎ撮りをしたテープ上のタイムコードが、連続して記録されます。

**25** REW ボタン/ランプ

このボタンを押すとテープが巻き戻され、ランプが点灯します。

再生中にこのボタンを押すと、約 2 倍速 (25 Mbps モード時は約 4 倍速) の巻き戻しサーチモードになります。

**26** STOP ボタン

このボタンを押すと本機が停止します。

**27** FF ボタン/ランプ

このボタンを押すとテープが早送りされ、ランプが点灯します。

再生中にこのボタンを押すと、約 2 倍速 (25 Mbps モード時は約 4 倍速) の早送りサーチモードになります。

**28** PLAY ボタン/ランプ

このボタンを押すと本機が再生モードになり、ランプが点灯します。

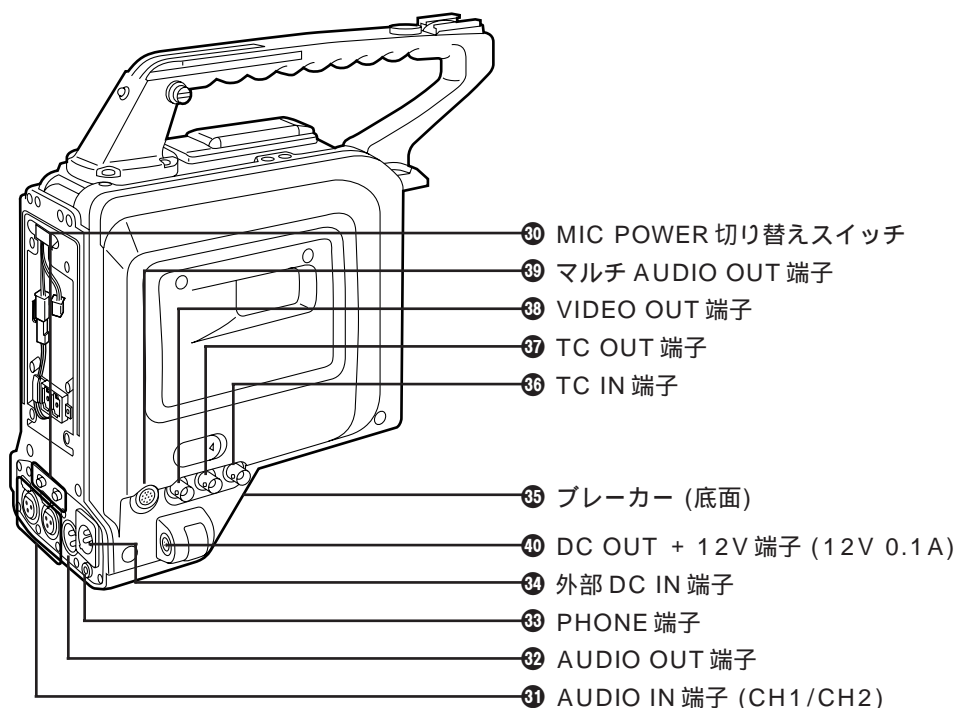
再生中にこのボタンを再度押すと、再生での一時停止となりランプが消えます。

一時停止のままにすると、2 分後には自動的に停止 (STOP) 状態になります。

**29** EJECT ボタン

このボタンを押すと、カセットテープがイジェクトされます。

## 各部の名称と機能



### ③⑩ MIC POWER 切り替えスイッチ

リアマイクへのファントム電源 (+ 48V) の供給を設定します。

OFF : ファントム電源は供給されません。

ON : ファントム電源が供給されます。

ただし、AUDIO IN 切り替えスイッチ ①⑦ が、「R. MIC」に設定されていないと供給されません。

< ノート >

MIC POWER 切り替えスイッチが「ON」の状態、+ 48V 電源に対応していないマイクを使用すると、マイクが故障するおそれがあります。

### ③① AUDIO IN 端子 (CH1/CH2)

外部マイクロホンやライン入力信号を接続します。

### ③② AUDIO OUT 端子

オーディオ機器に接続します。音声チャンネルは、MONITOR SELECT スイッチ ⑦ に連動して切り替わります。ただし、MONITOR SELECT スイッチ ③ が ST (STEREO) に設定されている場合でも、MIX 信号が出力されます。

### ③③ PHONE 端子

オーディオモニター用イヤホン端子です。

MONITOR SELECT スイッチ ③ が ST (STEREO) に設定されている場合、ステレオ信号が出力されます。

- イヤホンを接続すると、スピーカー ⑭ の音声は自動的に切れます。

### ③④ 外部 DC IN 端子

外部電源の入力端子です。

AC アダプターを接続します。接続すると、自動的に外部から電源が供給されます。

### ③⑤ ブレーカー (底面)

異常時に電源を遮断します。

### ③⑥ TC IN 端子

外部タイムコードジェネレーターを接続して、外部タイムコードを記録するときに使用します。

### ③⑦ TC OUT 端子

他の VTR へタイムコードを出力するときに使用します。

### ③⑧ VIDEO OUT 端子

コンポジット映像信号の出力端子です。

### ③⑨ マルチ AUDIO OUT 端子

CH1 と CH2 のオーディオ出力が、それぞれ独立して出力されます。

### ③⑩ DC OUT + 12V 端子 (12V 0.1A)

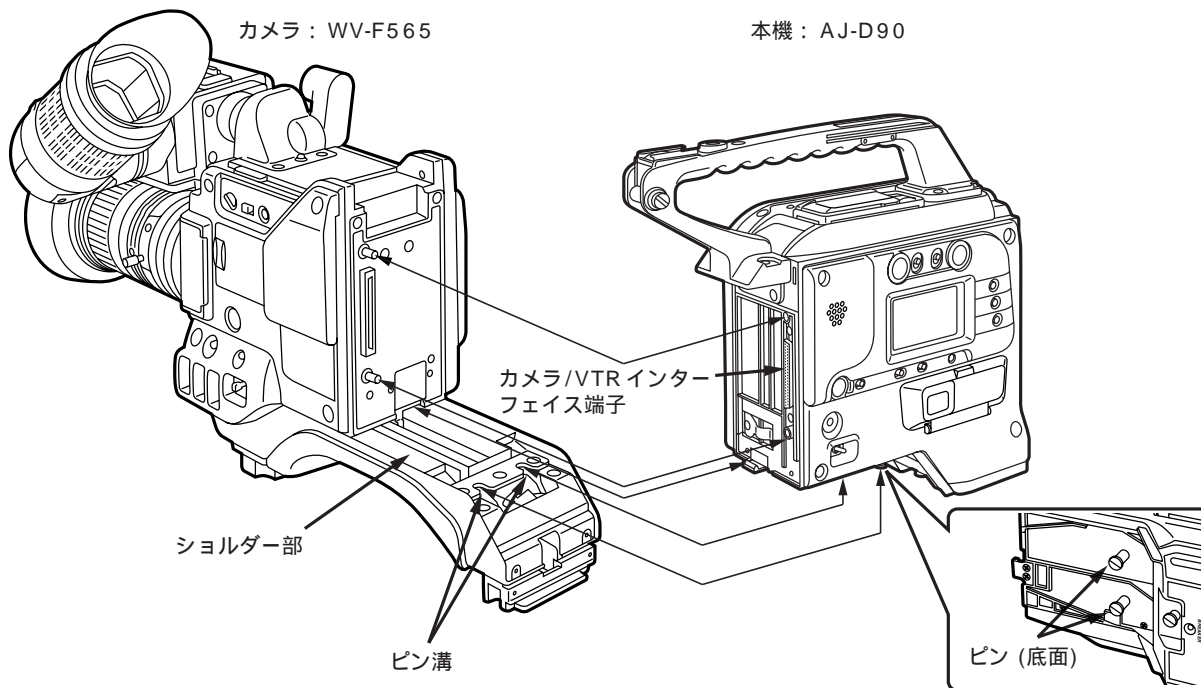
外部接続機器に DC + 12V を供給します。



# カメラの組み立て

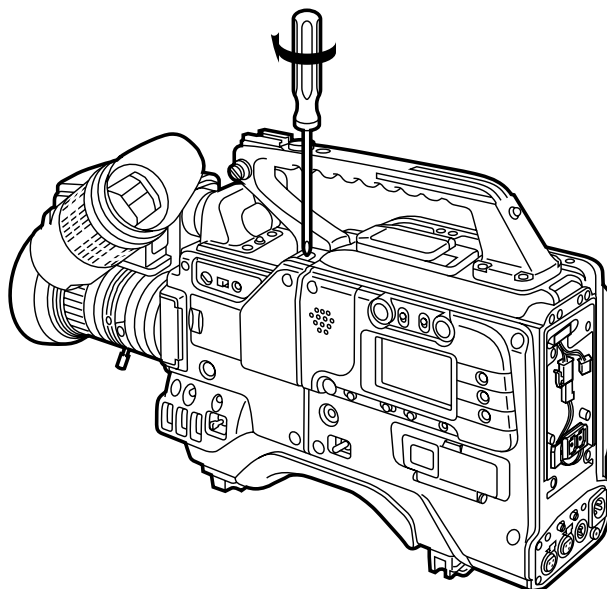
- 1** 本機をカメラ側のショルダー部にスライドさせてから、カメラ/VTR インターフェイス端子を接続します。

この場合、ピンとピン溝がはまり合うことを確認してください。



- 2** ハンドルのネジ部を、カメラにネジ止めします。

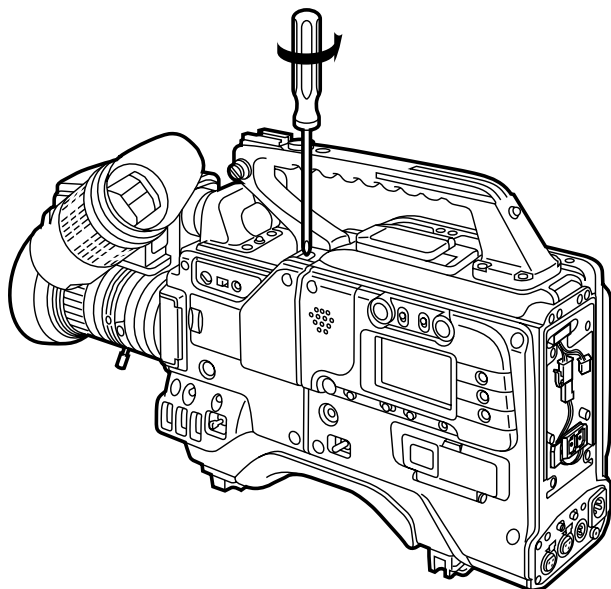
レンズの組立は、カメラの取扱説明書をご覧ください。



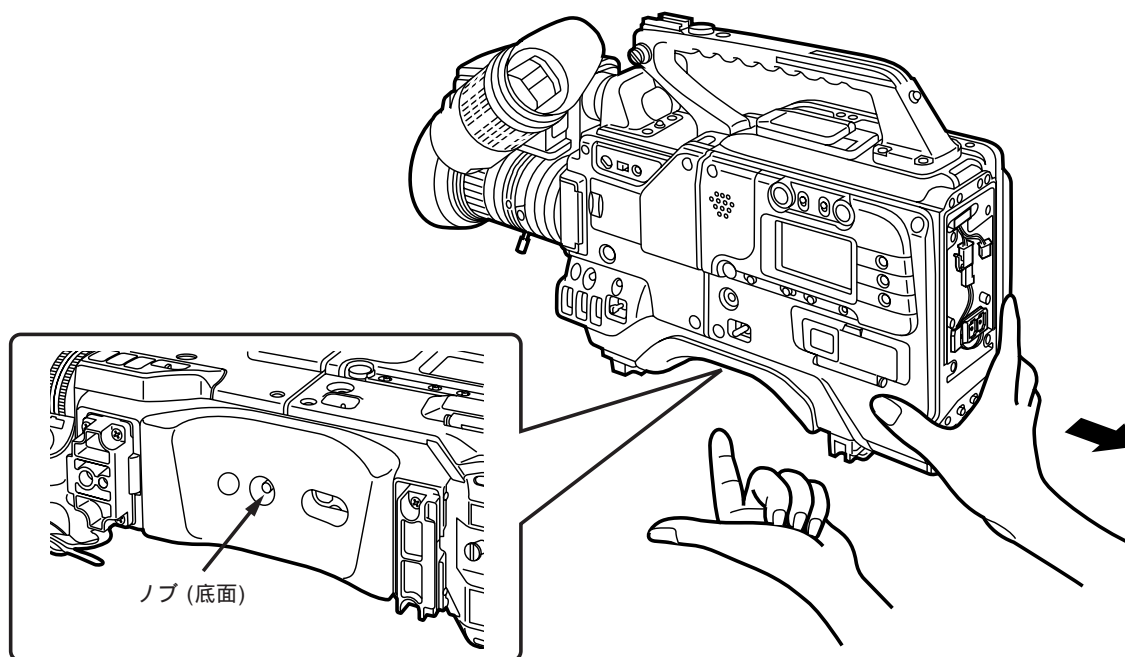
# カメラの取り外し

---

**1** ハンドルのネジを外します。



**2** 矢印の方向にカメラ底面のノブを押しながら、本機を矢印の方向に引きます。



# 電源の供給

本機の電源には、バッテリーパックまたは AC 電源が使用できます。

バッテリーパックは、  
パナソニック製  
アントン・バウアー製  
ソニー製

の 3 種類のバッテリーが使用できます。

バッテリーパックをご使用になる前に、バッテリーチャージャーを使って充電してください。

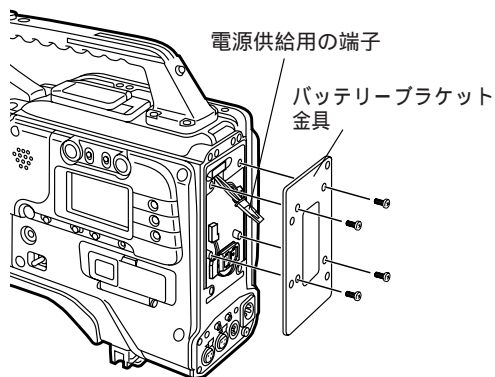
- 充電方法の詳細については、それぞれの取扱説明書をお読みください。

## アントン・バウアー製バッテリーパックの使用

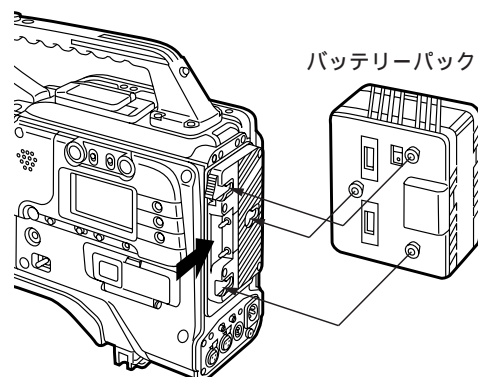
< ノート >

必ず本機の電源を切ってから行ってください。

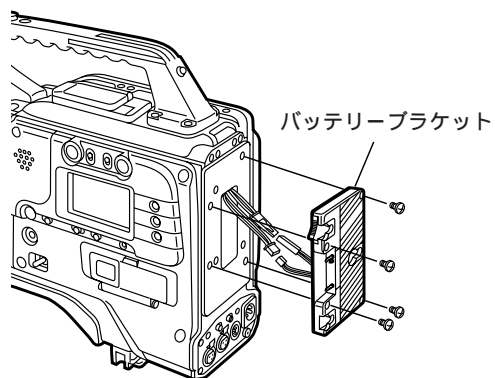
- 1 バッテリーブラケット金具の取り付け  
電源供給用の端子を外し、バッテリーブラケット金具を取り付けてください。



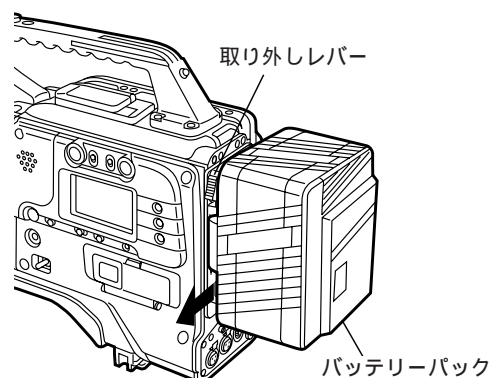
- 3 バッテリーパックの取り付け  
端子を差し込んでから、矢印の方向にスライドさせてください。



- 2 バッテリーブラケットの取り付け  
電源供給用の端子を接続し、バッテリーブラケットを取り付けてください。



- 4 バッテリーの取り外し  
バッテリーホルダーの取り外しレバーを完全に下まで倒したまま、バッテリーパックを矢印の方向にスライドさせてください。



< ノート >

インテリジェントバッテリーシステム / ウルトラライトシステムに対応しています。  
インテリジェントバッテリーの自動検知は、バッテリー残量が 10 % 以上で可能です。この時、ビューファインダー内のバッテリー残量は数値表示 (パーセント表示) されます。10 % 未満で電源を立ち上げた場合は電圧表示となります。またインテリジェントバッテリー検知後は、外部電源を供給しても残量表示はインテリジェントの表示を示しています。

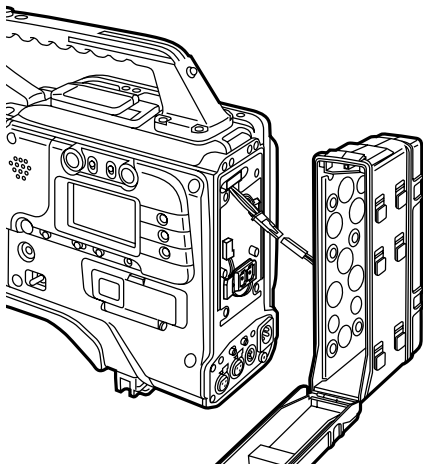
# 電源の供給

## パナソニック製バッテリーパック AU-BP402 の使用

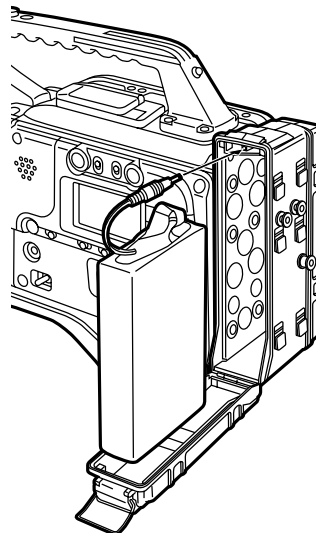
<ノート>

必ず本機の電源を切ってから行ってください。

**1** 本機のコネクタとバッテリーケース AU-M402H のコネクタを接続します。



**3** バッテリーパックのプラグとケース内の端子と接続し、バッテリーパックを入れます。

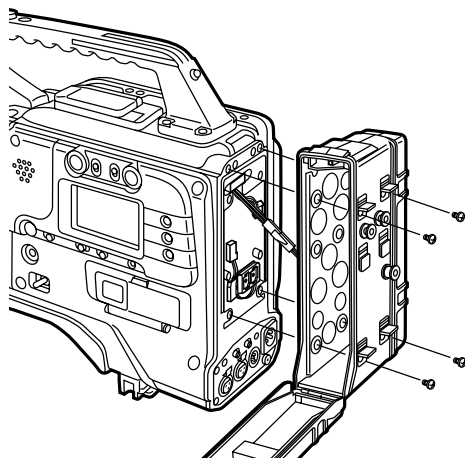


**2** バッテリーケース AU-M402H を取り付けます。バッテリーケースのフタを開け、ゴムキャップを上を持ち上げるとネジ穴が見えます。ドライバーでネジを締めて、ケースを本機に取り付けてください。

ネジは、最後まで正確に締めてください。

<ノート>

- ゴムキャップは、強く引っ張らないでください。
- 接続コードが、バッテリーケースと本体との間にカミ込まないように注意して取り付けてください。



# 電源の供給

## ソニー製バッテリーパック NP-1 の使用

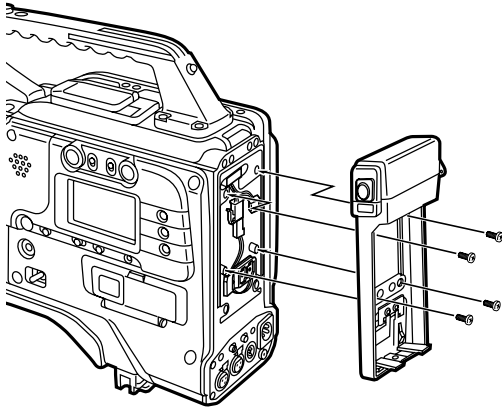
<ノート>

必ず本機の電源を切ってから行ってください。

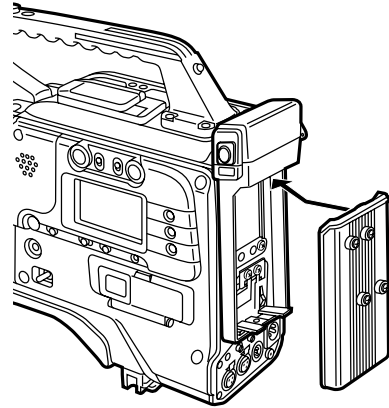
**1** フタを外したバッテリーケースをネジで取り付けます。

<ノート>

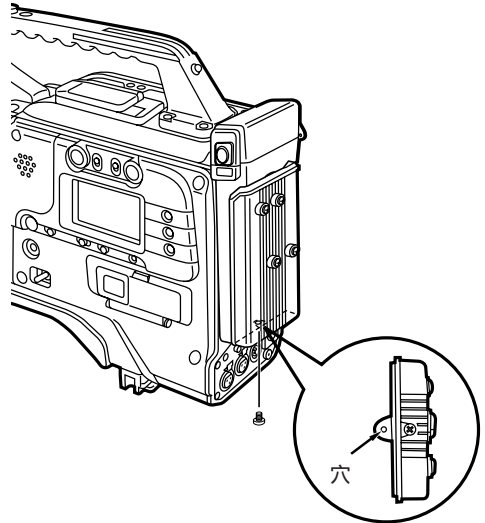
コードがカミ込まないように注意して取り付けてください。



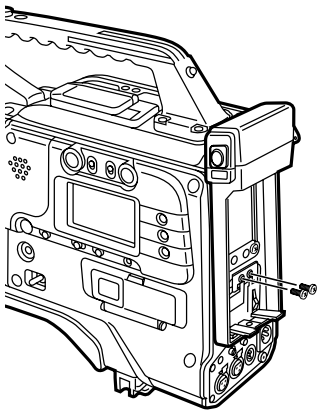
**3** フタの上部を矢印の方向に差し込みます。



**4** フタの下部（金属部分）の穴とケース下部の穴を合わせて、ネジで取り付けます。



**2** 電源接触用ネジを締めます。



# 電源の供給

## ソニー製バッテリーパック BP-90 の使用

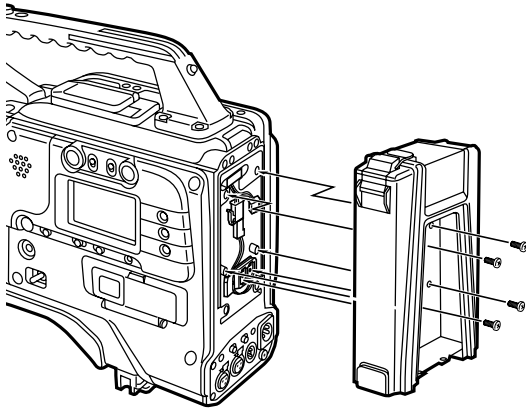
<ノート>

必ず本機の電源を切ってから行ってください。

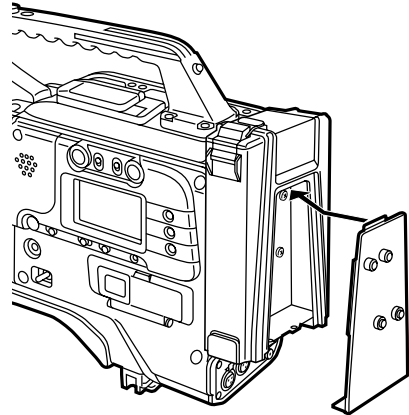
**1** フタを外したバッテリーケースをネジで取り付けます。

<ノート>

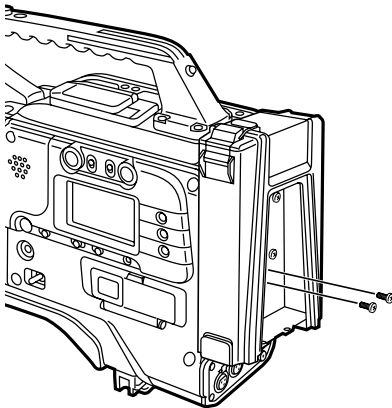
コードがカミ込まないように注意して取り付けてください。



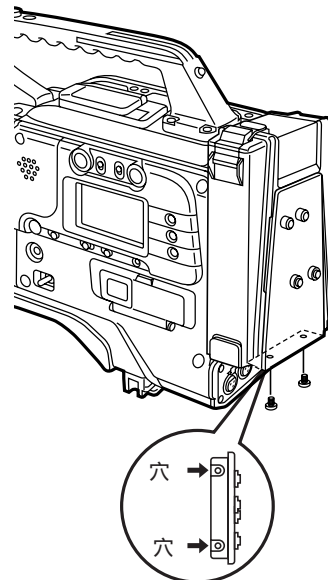
**3** フタの上部を矢印の方向に差し込みます。



**2** 電源接触用ネジを締めます。



**4** フタの下部（金属部分）の穴とケース下部の穴を合わせて、ネジで取り付けます。



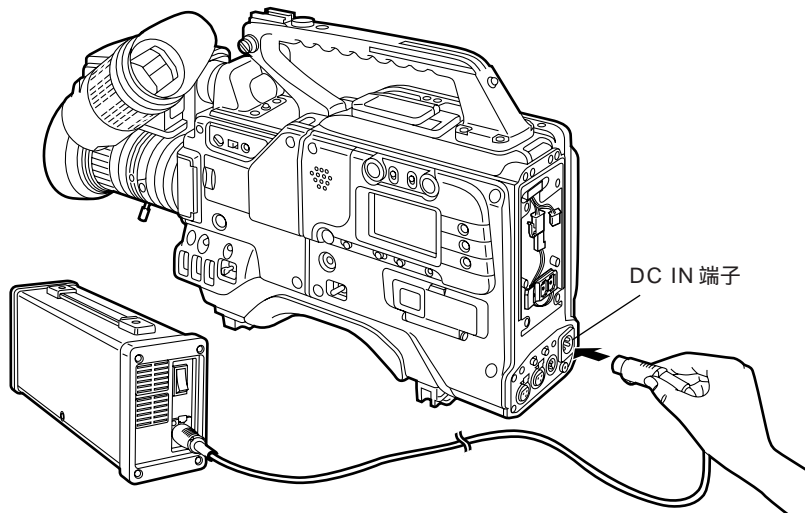
# 電源の供給

## AC 電源の使用 ( AC アダプタ AJ-B75 を使用した場合 )

< ノート >

必ず本機の電源を切ってから行ってください。

- 1 本機の外部 DC IN 端子と AC アダプタ AJ-B75 の DC OUT 端子を接続します。



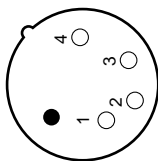
- 2 AC アダプタの電源を「ON」にします。

- 3 本機の POWER スイッチを「ON」にします。

< ノート >

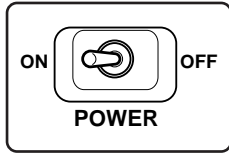
- AC アダプタ AJ-B75 以外の外部電源を使用するときは、外部 DC IN 端子のピン信号を確認してください。
- バッテリーパックと AC アダプタの両方接続した場合は、AC アダプタの電源が優先されます。
- AC アダプタを使用するときは必ず AC アダプタの電源を「ON」にした後、本機の POWER スイッチを「ON」にしてください。逆の操作を行った場合、AC アダプタの出力電圧がゆっくり立ち上がるために、本機が誤動作することがあります。

ピン番号	信号
1	GND
2、3	
4	+ 12V

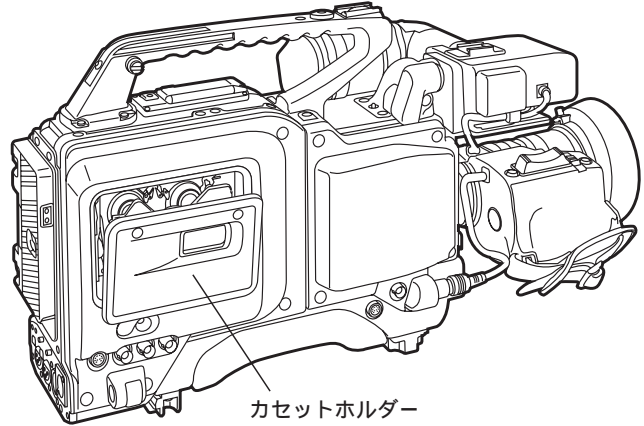
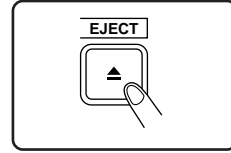


# カセットテープの挿入/取り出し

**1** POWER スイッチを「ON」にします。



**2** EJECT ボタンを押します。  
カセットホルダーが開きます。

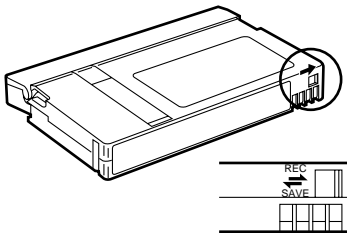


## カセットについてのご注意

### ■収録するとき

カセットテープの誤消去防止つまみを確認してください。

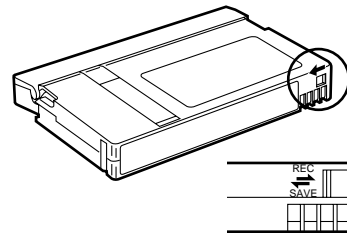
カセット後方にある誤消去防止つまみを「REC」側にしてください。



収録するときは、誤消去防止つまみを「REC」側にしてください。

### ■貴重な録画を誤って消さないために

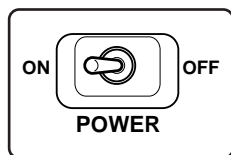
テープの記録内容を誤って消してしまうのを防ぐには、誤消去防止つまみを「SAVE」側にしてください。



誤消去を防止するには、誤消去防止つまみを「SAVE」側にしてください。



**1** POWER スイッチを「ON」にします。



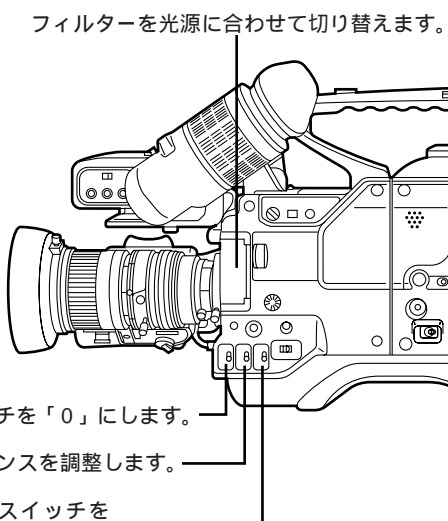
**2** カメラ側の DC POWER スイッチを「OFF」「SAVE」「ON」の順に、少し間をおいて切り替えます。

<ノート>

カメラ側の DC POWER スイッチを先に「ON」した後に、本機の POWER スイッチを「ON」すると、カメラ側の保護回路が動作することがあります。この場合、カメラ側の DC POWER スイッチを一度「OFF」にし、再度「ON」にすると正常に動作します。

**3** カセットテープを入れます。  
収録するときは、あらかじめカセットテープの誤消去防止つまみを「REC」側にしておいてください。

**4** カメラ側の各スイッチを次のように切り替えます。



**5** カメラを被写体に向けて、ピントやズームの調整をします。

**6** カメラ側の VTR START/STOP ボタンを押して記録を始めます。  
録画モードになるまで、ビューファインダー内の REC タリールランプは点滅します。  
録画が始まると、点灯に変わります。

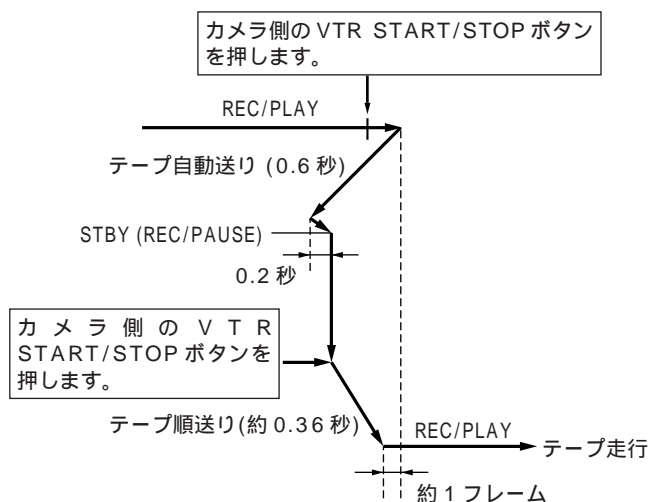
**7** カメラ側の VTR START/STOP ボタンを押して記録を中断します。

<ノート>

テープやシリンダーヘッドの保護のために、レックポーズモード中は2分ごとに1フレームずつテープが逆方向に送られます。レックポーズモードが最大30分以上続くと、セーブモードになります。

下図のように録画を中断すると、約18フレーム(0.6秒)巻き戻り、6フレームFWD方向に送りレックポーズモードになります。

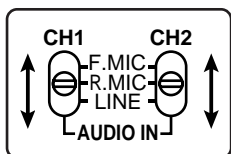
録画を再開すると、テープは約11フレーム再生し、約1フレーム重ねて録画を始めます。



● タイムコード切り替えスイッチが「R-RUN」に設定されているとき、タイムコード信号は連続して記録されます。

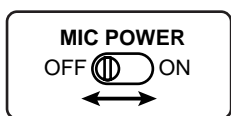
# 音声の記録

**1** オーディオ入力切り替えスイッチで希望の入力信号を選択します。  
50Mbps モード時は、CH1 と CH3 や CH2 と CH4 には、それぞれ同じ音声が入力されます。  
外部音声の種類によってオーディオ入力レベル切り替えスイッチを切り替えます。



● CH1 および CH2 に入力する音声の切り替え

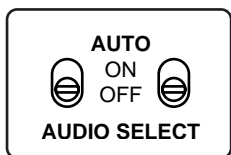
フロントマイクロホンを使用するとき	→	F. MIC
REAR 端子よりマイク信号を入力するとき	→	R. MIC
REAR 端子よりライン信号を入力するとき	→	LINE



● MIC POWER の切り替え

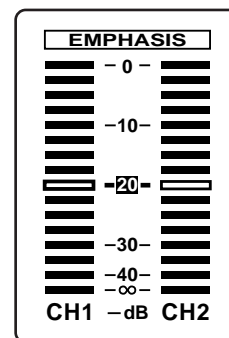
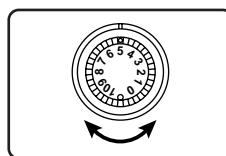
リアにファントムマイクを使用するとき	→	ON
リアに通常のマイクを使用するとき	→	OFF

**2** AUTO スイッチを「OFF」にします。  
AUTO スイッチを「ON」にすると、オーディオレベル調整つまみに関係なく、ほぼ適切なレベルに自動調整されます。



**3** オーディオレベル調整つまみを左右に回して、レベルメーター（ディスプレイウインドウ）のレベル表示が標準の位置にくるように調整します。

- ビューファインダー内のオーディオ入力レベルはカメラの取扱説明書をご覧ください。
- カメラ内蔵マイクロホンを使用しているときの音量調整は、カメラ側または本機側のどちらかのレベル調整つまみを最大の位置に設定し、他方の調整つまみで適切な音量に調整を行ってください。
- オーディオモニタースピーカーの音量が大きい場合、ハウリングを起こすことがあります。このようなときは、MONITOR レベル調整つまみを回して、ハウリングしないレベルに絞ってご使用ください。



## ファントムマイクの取り扱いについて

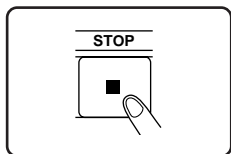
本機のマイク (CH1/CH2) には、ファントムマイクが使用できるようになっております。  
詳しくは 16 ページの 30 をご覧ください。

# パワーセーブモード

---

カメラ側の DC POWER スイッチを「SAVE」にすると、本機はパワーセーブモードになり、バッテリーパックの節電ができます。

- 1 本機を停止、イジェクト、またはレックポーズモードにします。



- 2 カメラの DC POWER スイッチを「SAVE」にします。  
本機はパワーセーブモードになります。  
この場合、ハーフロード状態でドラムが停止します。

参考：

パワーセーブ状態でも、早送り、巻き戻し、イジェクト、REC 等の操作が可能です。

この場合、操作中に STOP ボタンや REC PAUSE ボタンを押したり、早送り、巻き戻し、イジェクト等の動作が完了した場合は、再度パワーセーブモードになります。

# 再生

## 記録内容のチェック

PLAY ボタンを押すと、ビューファインダーで白黒の再生画像を見ることができます。このほか再生画像を見る方法は 2 通りあります。

### 1. レックレビュー :

設定メニューの MAIN FUNCTION で REC CHECK が「ON」に設定されている場合、ビューファインダーで記録内容の最後 2 秒間の白黒画像を見ることができます。

記録を一時停止し、レンズの RET ボタンを押すと、最後の 2 秒間が自動的に巻き戻され、その部分の再生画像がビューファインダーに表示されます。これにより、記録が正しく行われたか確認できます。

再生後は、再び記録開始待ちの状態になります。

< ノート >

1 秒間以上記録されていない場合は、レックレビュー機能は使用できません

### 2. カラー再生 :

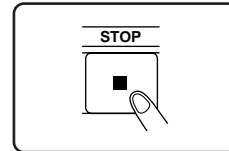
本機の VIDEO OUT 端子にカラーモニターを接続すると、再生画像をカラーで見ることができます。

巻き戻し (REW) や早送り (FF) 中でも、再生信号はビューファインダーに出力されます。

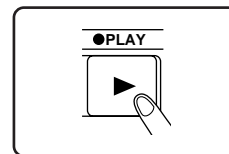
再生信号の音声出力の選択や音量の調整は、MONITOR SELECT スイッチや MONITOR レベル調整つまみで行います。(12、13 ページ参照)

## 再生

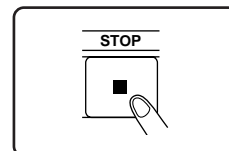
- 1 本機の STOP ボタンを押して停止モードにします。  
REC/PLAY 中は本機の STOP ボタンを押しても、本機は停止モードにはなりません。  
カメラ側の VTR START/STOP ボタンを押して、記録を中断 (レックポーズモード) してから本機の STOP ボタンを押してください。



- 2 PLAY ボタンを押します。
  - ビューファインダー内で再生が始まります。
  - VIDEO OUT 端子からの信号をカラーモードで再生します。

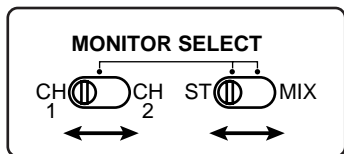


- 3 STOP ボタンを押します。  
再生時は、カメラ側の VTR START/STOP ボタンとは連動しません。必ず本機の STOP ボタンで行ってください。

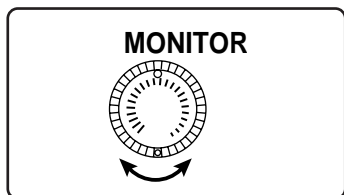


## 音声のモニター

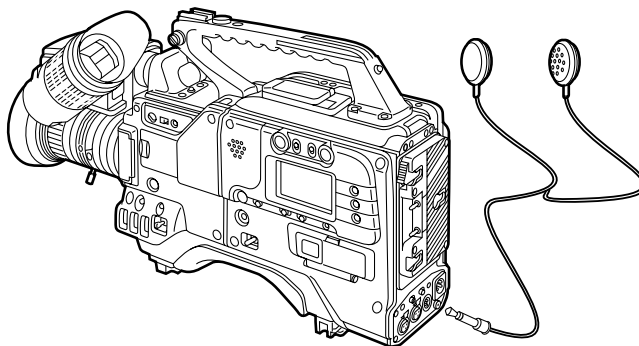
- 1** MONITOR SELECT スイッチで、音声チャンネルを選択します。



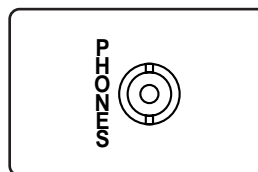
- 2** MONITOR レベル調整つまみを回し、スピーカーの音量を調整します。



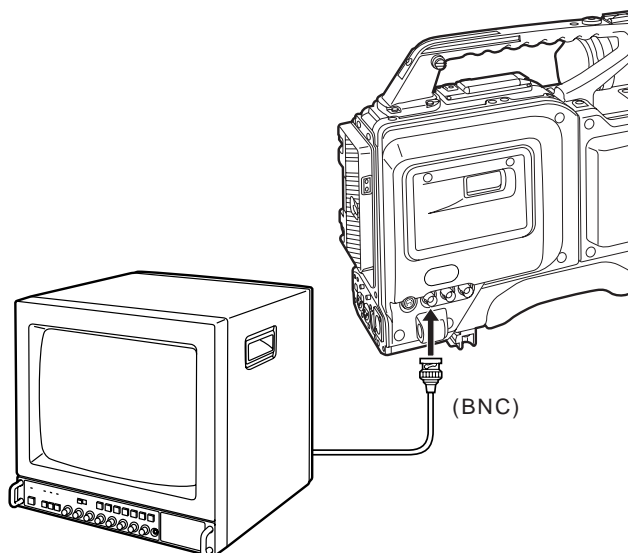
- 3** イヤホンでモニターする場合、PHONE 端子にイヤホンを接続します。



- イヤホンを接続したときは、スピーカーでのモニターはできません。



## 映像のモニター



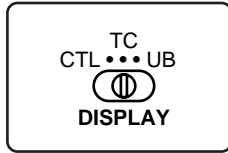
- 録画中は、カメラ出力がモニターできます。
- 再生中は、カラーモードの再生画像がモニターできます。(再生中でも、設定メニューの操作によりカメラ出力を出すことも可能です。)

<ノート>

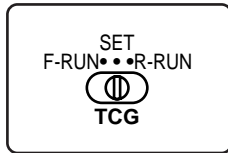
再生中にカメラ出力をモニターしたいときは、カメラ側の VIDEO OUT 端子をご使用ください。

# タイムコード信号の設定

- 1** DISPLAY 切り替えスイッチを「TC」の位置にします。



- 2** TCG 切り替えスイッチを「SET」の位置にします。



- 3** 設定メニュー「FUNCTION 1/3」のページで TC MODE を「DF」または「NDF」に切り替えます。

DF : ドロップフレームモードでタイムコードを歩進させるとき。

NDF : ノンドロップフレームモードでタイムコードを歩進させるとき。

- 4** SHIFT/ITEM ボタンと UP/DOWN ボタンでタイムコードを設定します。

SHIFT/ITEM ボタン :

設定したい桁を点滅させるときに使用します。押すごとに点滅の桁が右へ移動します。

UP ボタン :

点滅の桁の数値を 1 ずつ大きくします。

DOWN ボタン :

点滅の桁の数値を 1 ずつ小さくします。

- 5** TCG 切り替えスイッチを「F-RUN」または「R-RUN」にします。

F-RUN : タイムコードをフリーランで歩進させるとき。

R-RUN : タイムコードをレックランで歩進させるとき。

参考 :

- タイムコードのドロップフレーム/ノンドロップフレームモードの選択は、設定メニューで選択することができます。

- レックランとフリーラン

レックラン :

本機が記録モードのときに限り、タイムコードをカウントします。

記録の開始と同時にカウントを始め、記録の終了と同時にカウントを停止します。

フリーラン :

本機の操作モードに関係なく、タイムコードは常にカウントを続けます。

ジェネレーターを標準の時計に合わせておくと、記録時刻をテープに記録できます。

- ドロップフレーム (DF) とノンドロップフレーム (NDF)

ドロップフレーム :

カラー同期と実時間のズレを長時間に補正するため、0分/10分/20分/30分/40分/50分を除く各正分の開始から2つのフレーム(00、01)をそれぞれスキップします。

00:00:59.29  
↓  
00:01:00.02

ノンドロップフレーム :

タイムコード信号自体に手を加えないでカウントアップしていきます。

00:00:59.29  
↓  
00:01:00.00

# タイムコード信号の設定

---

## <ノート>

設定メニューの操作で、タイムコードのドロップフレーム/ノンドロップフレームの設定を行っても、次のような場合には、ディスプレイウインドウのDF表示が設定と異なることがあります。

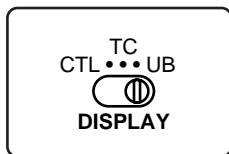
1. 外部タイムコードを入力しているとき  
設定メニューの操作に関係なく、外部タイムコードのドロップフレーム/ノンドロップフレームに従います。
2. 本機が記録モード以外のとき  
タイムコードは再生モードになっています。  
テープに記録されたタイムコードがドロップフレームかノンドロップフレームかによって、DF表示が変わります。
3. TCG 切り替えスイッチが「R-RUN」の位置になっているとき  
記録開始時、以前に記録したタイムコードデータがあれば、そのタイムコードデータを読みとって、連続したタイムコードを記録します。  
すなわち、設定メニューの操作に関係なく、以前に記録したモードに従って記録されます。

## バッテリー交換時のタイムコードについて

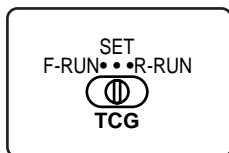
バッテリーの交換時にもバックアップ機構が働いて、タイムコードジェネレーターは長時間 (約 1 年間) 動作を続けます。

# ユーザズビット (リアルタイムを含む) の設定

- 1** DISPLAY 切り替えスイッチを「UB」の位置にします。



- 2** TCG 切り替えスイッチを「SET」の位置にします。



- 3** 設定メニュー「FUNCTION 1/3」のページで UB MODE を選択します。

- 4** SHIFT/ITEM ボタンと UP/DOWN ボタンで USER に設定します。

SHIFT/ITEM ボタン：

設定したい桁を点滅させるときに使用します。押すごとに点滅の桁が右へ移動します。

UP ボタン：

点滅の桁の数値を 1 ずつ大きくします。

DOWN ボタン：

点滅の桁の数値を 1 ずつ小さくします。

- 16 進数の A ~ F は次のように表示されます。

16 進数	A	B	C	D	E	F
表示	<i>A</i>	<i>b</i>	<i>Ɔ</i>	<i>d</i>	<i>E</i>	<i>F</i>

- 5** TCG 切り替えスイッチを「F-RUN」または「R-RUN」にします。

ユーザズビットのメモリー機能について

ユーザズビットの設定内容 (実時刻以外) は、自動的にメモリーされ、電源を切った後も保持されます。

< ノート >

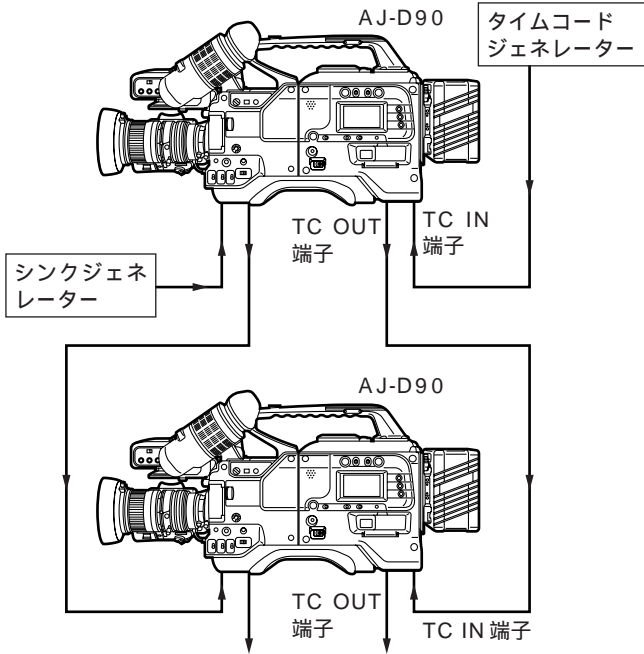
- UB MODE の「REAL」を選択したときは、TIME/DATE ページの HOUR、MINUTE の設定値に従います。
- UB MODE の「REAL」を選択したとき、表示切り替えスイッチが「UB」の位置でメニュー SET/OFF スイッチを「SET」にすると、ディスプレイウインドウの表示を保持 (HOLD) します。



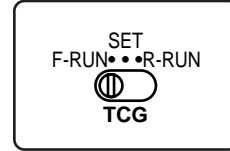
# 外部タイムコードに内部タイムコードジェネレーターをロックさせる

**1** タイムコード入力端子に、リファレンスビデオ信号と同期したタイムコード信号を入力します。

**2** 複数のVTRを同時にロックさせる場合は、下図のように接続します。



**3** TCG切り替えスイッチを「F-RUN」の位置にします。



設定によって、本機内蔵のタイムコードジェネレーターの動作は異なります。

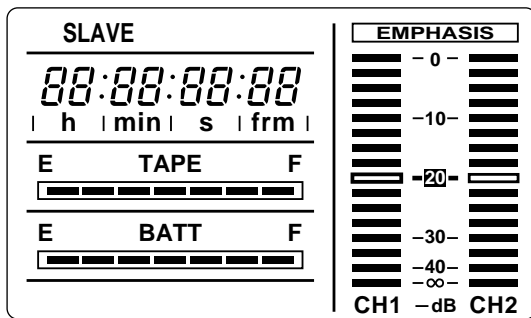
通常は、「F-RUN」の位置にしておきます。

「F-RUN」の位置にすると、外部タイムコード信号の入力が途切れても、連続してカウントを行います。

< ノート >

リファレンススルー端子の付いていないカメラを用いてジェネレーターをロックさせる場合は、リファレンス信号の分配器が必要です。

本機の電源「ON」時に、記録モードになった時やテープの停止中は、外部タイムコード信号にスレーブロックがかかります。

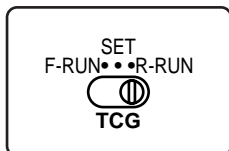


タイムコード信号として、外部タイムコードジェネレーターを使用してロックさせる以外に、本機を親機として使用することもできます。

## つなぎ撮り時のタイムコードの連続記録

---

- 1 TCG 切り替えスイッチを「R-RUN」の位置にします。  
以前に記録した部分の連続した値で、タイムコードを記録することができます。



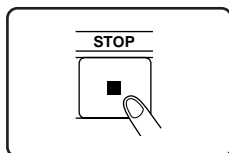
<ノート>

外部タイムコード信号を入力した場合は、つなぎ撮り時にタイムコードを連続することはできません。

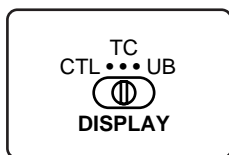
## タイムコードの再生

---

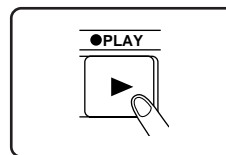
- 1 STOP ボタンを押して、本機を停止モードにします。



- 2 DISPLAY 切り替えスイッチを「TC」または「UB」の位置にします。



- 3 PLAY ボタンを押して再生を開始します。



参考：

ドロップフレームモードの場合、ディスプレイウインドウに DF 表示が点灯します。

# 設定メニュー画面

## メニュー画面の表示方法

USERメニュー；MENUスイッチをSETにすると表示されます。

ENGメニュー；SHIFT/ITEMボタンとUPボタンを同時に押した状態でMENUスイッチをSETにすると表示されます。

## VF DISPLAY 画面

ビューファインダー表示情報の設定を行います。

- VF DISPLAY -	
TAPE	: ON
TCG VF DISP	: OFF

項目	可変範囲	VF表示	備考
TAPE	<u>ON</u> OFF	USER	テープ残量表示のON/OFF
TCG VF DISP	ON <u>OFF</u>	USER	タイムコード表示のON/OFF切り替え ON：タイムコードを表示します。 OFF：タイムコードを表示しません。

## MAIN FUNCTION 画面

使用機能の設定を行います。

- MAIN FUNCTION -	
REC MODE	: 50M
PB MODE	: 50M
REC CHECK	: ON
BACK TALLY	: ON

項目	可変範囲	VF表示	備考
REC MODE	<u>50M</u> 25M	USER	本機に記録するモードを選択します。 50M：50Mbpsで記録します。 50M設定時、50Mbpsのランプが点灯します。 25M：25Mbpsで記録します。
PB MODE	AUTO <u>50M</u> 25M	USER	本機の再生モードの選択 AUTO：記録モードを自動検出して再生するモード 50M：50Mモード 25M：25Mモード
REC CHECK	<u>ON</u> OFF	USER	REC CHECK動作のON/OFF
BACK TALLY	<u>ON</u> OFF	USER	BACK TALLY LEDのON/OFF

## BATT/TAPE ALARM 画面

撮影中にバッテリー残量とテープ残量の警告音が気になる場合は、警告音を切ることができます。

- BATT/TAPE ALARM -	
BATT NEAR END	: OFF
BATT END	: ON
TAPE NEAR END	: OFF
TAPE END	: ON

項目	可変範囲	VF表示	備考
BATT NEAR END	ON <u>OFF</u>	ENG	バッテリー消耗間近の警告音のON/OFF
BATT END	<u>ON</u> OFF	ENG	バッテリー消耗時の警告音のON/OFF
TAPE NEAR END	ON <u>OFF</u>	ENG	テープ終端間近の警告音のON/OFF (テープ終端から約3分前に警告)
TAPE END	<u>ON</u> OFF	ENG	テープ終端時の警告音のON/OFF

可変範囲の\_はプリセットモードです。

# 設定メニュー画面

## FUNCTION 1/3 画面

調整機能 - 1 の設定を行います。

- FUNCTION 1/3 -	
HUMID OPE	: OFF
REC START	: NORMAL
TC MODE	: DF
UB MODE	: USER
PAUSE TIMER	: 30
BATTERY SEL	: NiCd-12
TCG SET HOLD	: OFF
LIGHT SET UP	: OFF

< ノート >

- UB MODE を REAL で使用する場合は「TIME/DATE」メニュー画面で時刻の変更を行います。

項目	可変範囲	VF 表示	備考
HUMID OPE	ON <u>OFF</u>	ENG	結露状態での動作の選択 ON : 通常通りの動作を続ける。 OFF : POWER SW と EJECT ボタン以外の動作を禁止します。
REC START	ALL <u>NORMAL</u>	ENG	VTR START/STOP での REC の受け付けを選択 ALL : モードに関係なく REC を受け付ける。 NORMAL : STOP (POWER SAVE) モードと REC PAUSE モードの時のみ REC を受け付ける。
TC MODE	DF NDF	ENG	タイムコードの DF/NDF 切り替え DF : ドロップフレームモード NDF : ノンドロップフレームモード
UB MODE	<u>USER</u> REAL EXT	ENG	UB の使用方法の選択 USER : ユーザー設定値 (固定値) REAL : TIME DATE の時刻でリアルタイム動作 EXT : 外部から TC 入力がある時、UBG 値がスレーブロックします。(外部入力がない時は、ユーザー設定値を使用します。)
PAUSE TIMER	10 20 <u>30</u>	ENG	REC/PAUSE 時の持続時間選択 10 : 10 分間 20 : 20 分間 30 : 30 分間
BATTERY SEL	<u>NiCd-12</u> NiCd-13 NiCd-14 DIGITAL	ENG	バッテリーの種類の選択* NiCd-12 : 12V のニカド電池を使用する時。 NiCd-13 : 13V のニカド電池を使用する時。 NiCd-14 : 14V のニカド電池を使用する時。 DIGITAL : デジタルバッテリーを使用する時。
TCG SET HOLD	ON <u>OFF</u>	ENG	TCG SET 電源 OFF 電源 ON REC での TCG の動作選択 ON : TCG SET したことを電源 OFF 時に記憶し、REGEN しません。 OFF : TCG SET したことを電源 OFF 時に記憶せず、REGEN します。
LIGHT SET UP	<u>OFF</u> ON	ENG	前回は電源を「OFF」した時の LCD 照明状態の記憶設定 OFF : 照明状態を記憶しません。 (電源「ON」時は、LCD 照明が「OFF」になります。) ON : 照明状態を記憶します。 (前回、電源「OFF」時の LCD 照明状態でセットアップされます。)

\* BATTERY SEL で NiCd-12, 13, 14 を選択していてもアントンのインテリジェントバッテリーかどうかを自動検知しています。インテリジェントバッテリーの場合は、ビューファインダー内のバッテリー残量表示は数値表示 (パーセント表示) となります。また、使用するバッテリーが常にインテリジェントバッテリーの場合は、DIGITAL を選択してご使用ください。

可変範囲の    はプリセットモードです。

USER メニュー ; MENU スイッチを SET にすると表示されます。

ENG メニュー ; SHIFT/ITEM ボタンと UP ボタンを同時に押した状態で MENU スイッチを SET にすると表示されます。

# 設定メニュー画面

## FUNCTION 2/3 画面

調整機能 - 2 の設定を行います。

- FUNCTION 2/3 -	
FRONT MIC	: -40dB
REAR MIC CH1	: -60dB
REAR MIC CH2	: -60dB
LINE CH1/CH2	: +4dB
REAR AUDIO	: STEREO
FRONT MIC IN	: BAL
MIC LOWCUT CH1	: ON
MIC LOWCUT CH2	: ON
EMPHASIS	: OFF
LIMITER	: OFF

< ノート >

- MIC LOWCUT ON 時の周波数特性は、200Hz ~ 10kHz になります。
- LIMITER は ピーク (AUDIO LINE CH1/CH2 入力レベルが + 4 dB に設定時は + 24 dBu) から - 3 dB でリミッター動作します。
- AUDIO SELECT が 「MAN」 の時、LIMITER 動作し、「AUTO」の時、AGC 動作します。

項目	可変範囲	VF 表示	備考
FRONT MIC	- 40 / - 50 / - 60dB	ENG	カメラマイク入力レベルの選択
REAR MIC CH1	- 40 / - 50 / - 60dB	ENG	リアジャック AUDIO CH1 入力のマイクレベルの選択
REAR MIC CH2	- 40 / - 50 / - 60dB	ENG	リアジャック AUDIO CH2 入力のマイクレベルの選択
LINE CH1/CH2	+4 / 0 / - 6dB	ENG	リアジャック AUDIO CH1/CH2 入力のライン入力レベルの選択
REAR AUDIO	STEREO MONO	ENG	リアジャック AUDIO CH1/CH2 入力方法選択 STEREO : ステレオ入力選択 (CH1 入力は CH1 に、CH2 入力は CH2 に記録されます。) MONO : モノラル入力選択 (CH1 入力と CH2 入力のミックス信号が CH1、CH2 それぞれに記録されます。)
FRONT MIC IN	BAL UNBAL	ENG	68 ピン インターフェイスでのカメラマイク接続の BALANCE/UNBALANCE の選択 BAL : カメラマイク入力を BALANCE で行います。 UNBAL : カメラマイク入力を UNBALANCE で行います。
MIC LOWCUT CH1	ON OFF	ENG	CH1 入力のハイパスフィルター ON/OFF 切り替え
MIC LOWCUT CH2	ON OFF	ENG	CH2 入力のハイパスフィルター ON/OFF 切り替え
EMPHASIS	ON OFF	ENG	記録時のエンファシスの ON/OFF 切り替え EE 出力信号もこの SW 状態と連動します。
LIMITER	ON OFF	ENG	AUDIO LIMITER の ON/OFF 切り替え ON : リミッター動作します。 OFF : リミッター動作しません。

可変範囲の\_はプリセットモードです。

USER メニュー ; MENU スイッチを SET にすると表示されます。

ENG メニュー ; SHIFT/ITEM ボタンと UP ボタンを同時に押した状態で MENU スイッチを SET にすると表示されます。

# 設定メニュー画面

## FUNCTION 3/3 画面

調整機能 - 3 の設定を行います。

- FUNCTION 3/3 -	
PB SET UP	: 0 %
PB OUT	: ON

項目	可変範囲	VF 表示	備考
PB SET UP	0 % 7.5 %	ENG	再生時の SET UP レベル切り替え
PB OUT	ON OFF	ENG	VIDEO OUT 端子への映像信号の設定 ON : VIDEO OUT 端子に、本機の動作モード (記録、再生、設定メニュー等) により切り替えた映像信号が出力されます。 OFF : VIDEO OUT 端子に、常時カメラからのエンコーダ映像が出力されます。 ただし、MENU SET/OFF スイッチを SET にするとメニュー画面が表示されます。 (バックアップ VTR で収録するときに使用します。)

可変範囲の\_\_はプリセットモードです。

USER メニュー ; MENU スイッチを SET にすると表示されます。

ENG メニュー ; SHIFT/ITEM ボタンと UP ボタンを同時に押した状態で MENU スイッチを SET にすると表示されます。

# 設定メニュー画面

## TIME/DATE 画面

日付 / 時刻の設定を行います。日付 / 時刻の変更後、UP または DOWN ボタンを押すと設定を実行します。

- TIME/DATE -	
YEAR	:98
MONTH	:01
DAY	:01
HOUR	:00
MINUTE	:00
■TIME/DATE SET	

項目	可変範囲	VF 表示	備考
YEAR	98 ~ 10	ENG	年の設定
MONTH	1_ ~ 12	ENG	月の設定
DAY	1_ ~ 31	ENG	日の設定
HOUR	0_ ~ 23	ENG	時の設定
MINUTE	0_ ~ 59	ENG	分の設定
TIME/DATE SET		ENG	日付 / 時刻の確定

< ノート >  
秒設定は行えません。必ず 0 秒スタートになります。

## DATA RESET 画面

MENU 表示項目の設定をリセットします。 を項目に合わせて、UP または DOWN ボタンを押すと、設定を実行します。

- DATA RESET -	
MENU INIT.	

項目	可変範囲	VF 表示	備考
MENU INIT.		ENG	設定メニューを工場出荷状態にします。

## DIAGNOSTIC 画面

使用状況やソフトウェアバージョンを表示します。

- DIAGNOSTIC -	
OPERATION	:00000 ×10h
DRUM RUNNING	:00000 ×10h
THREADING	:00000 ×10
VTR SYSCON	Ver <1.0>
DV	Ver <0.0030>
	97.XX.XX

項目	可変範囲	VF 表示	備考
OPERATION		ENG	電源 ON での使用時間
DRUM RUNNING		ENG	ドラムの回転時間
THREADING		ENG	ローディング回数
VTR SYSCON		ENG	ソフトのバージョン表示
DV		ENG	ソフトのバージョン表示

可変範囲の\_はプリセットモードです。

USER メニュー ; MENU スイッチを SET にすると表示されます。

ENG メニュー ; SHIFT/ITEM ボタンと UP ボタンを同時に押した状態で MENU スイッチを SET にすると表示されます。

# 警告システム

電源を入れた直後や操作中に異常が検出されると、ディスプレイウインドウ (LCD) 、WARNING ランプ、ビューファインダー内のランプ、スピーカーやイヤホンからの警告音が異常発生を知らせます。

項目	ディスプレイウインドウ (LCD)				ランプ		警告音	警告内容	本機の動作	対策
	警告表示	警告表示状態	バッテリー残量表示	テープ残量表示	WARNING ランプ	REC ランプ				
RF	RF	点灯 * 1)			4 回 / 1 秒 点滅	4 回 / 1 秒 点滅	4 回 / 1 秒 * 1)	ビデオヘッドの目詰まり、記録系の異常。	ヘッドの目詰まりを検出して警告音を出します。正しく記録できないときがあります。	ヘッドクリーニングをします。クリーニング後も正しく記録できないときは、電源を切り、販売店にご相談ください。
SERVO	SERVO	点灯			4 回 / 1 秒 点滅	4 回 / 1 秒 点滅	4 回 / 1 秒	サーボの乱れ	記録は継続しますが、正しく記録できない場合があります。	電源を切り、販売店にご相談ください。(テープ走行開始時に一瞬点滅して消える場合がありますが、異常ではありません。)
HUMID	HUMID	点灯			点灯	4 回 / 1 秒 点滅	4 回 / 1 秒 * 1) 連続音 * 2)	結露	記録を継続しますが、テープ貼りつきを起こすと、記録停止します。再生、早送り、巻戻しの動作は停止します。	テープ走行を停止し、再度電源を入れてもなお HUMID 表示が消えない場合は、消えるまでお待ちください。
SLACK	SLACK	点滅			4 回 / 1 秒 点滅	4 回 / 1 秒 点滅	連続音	テープの巻取り異常	ディスプレイウインドウのタイムコード表示位置にエラーコードが出ます。本機は停止します。	ディスプレイウインドウのエラーコードを確認し (42 ページ参照)、販売店にご相談ください。

\* 1) 記録中 \* 2) 再生、早送り、巻戻し中

## < ノート >

ビデオヘッド目詰まり等でクリーニングテープがない場合は、一度 STOP モードにしてからサイドパネル部の RESET ボタンを押した状態で STOP ボタンを再度押してください。押している間、最大 10 秒までクリーニングローラがヘッドクリーニングします。



# 警告システム

項目	ディスプレイウインドウ (LCD)				ランプ		警告音	警告内容	本機の動作	対策
	警告表示	警告表示状態	バッテリー残量表示	テープ残量表示	WARNINGランプ	RECランプ				
TAPE END	E TAPE F	点滅 * 1)		1/7 個表示 ビューファインダー内の5-0が点滅	1回 / 1秒 点滅 * 1)	1回 / 1秒 点滅	4回 / 1秒	テープの終端間近	動作を継続	必要に応じてテープを交換
		点滅		7/7 個表示	点灯	4回 / 1秒 点滅	連続音	テープ終端	記録、再生、早送り中は動作停止。	テープを交換、またはテープを巻戻します。
BATTERY END	E BATT F	点滅	1/7 個表示		1回 / 1秒 点滅	1回 / 1秒 点滅	4回 / 1秒 * 1)	バッテリーの消耗間近	動作を継続	必要に応じてバッテリーを交換
		点滅	7/7 個表示		点灯	1回 / 1秒 点滅	連続音	バッテリーの消耗	動作停止	バッテリーを交換

\* 1) 記録中 \* 2) 再生、早送り、巻戻し中

警告システムの優先順位は以下のとおりです。

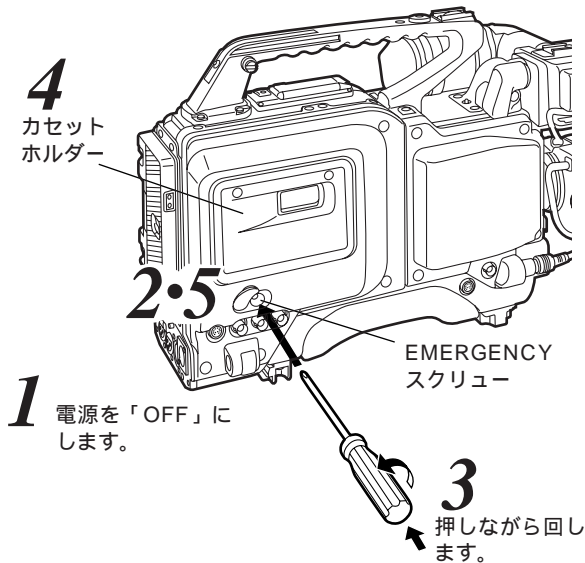
- 1 SLACK
- 2 BATTERY END
- 3 TAPE END
- 4 BATTERY NEAR END
- 5 TAPE NEAR END
- 6 HUMID
- 7 SERVO
- 8 RF

# EMERGENCY イジェクト

EJECT ボタンを押してもカセットを取り出せないときは、ドライバー等でEMERGENCYスクリューを押しながら回すと、カセットを取り出すことができます。

**1** 電源を「OFF」にします。

**2** 図のようにゴムキャップを外し、プラスドライバーをEMERGENCYスクリュー（赤色）の十字部に挿入します。



**3** ドライバーを押しながら、カセットアップするまでEMERGENCYスクリューを反時計方向に回転させます。

**4** カセットを取り出します。

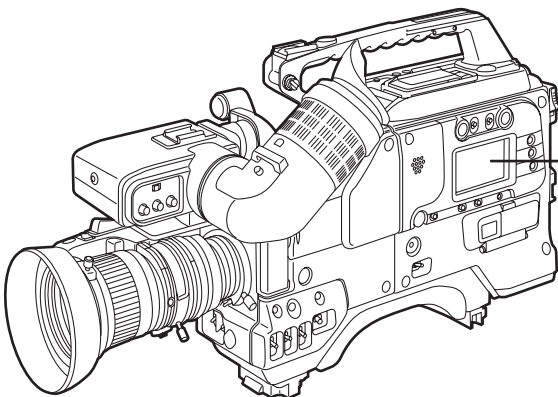
**5** ゴムキャップを元に戻します。

< ノート >

- 緊急以外はこのEMERGENCYスクリューを回さないようにしてください。
- スクリューは時計方向に回さないでください。またカセットアップした後はそれ以上回転させないでください。メカニズム部を破損させるおそれがあります。
- カセットアップした後は、カセットホルダーを閉めてもロックしません。必ず電源を再投入し、メカニクスの動作をリセットさせてから、カセットホルダーを閉めてください。

# エラーコード

何らかの原因で本機にエラーが発生したときには、ディスプレイウインドウに下記のエラーコードを表示します。



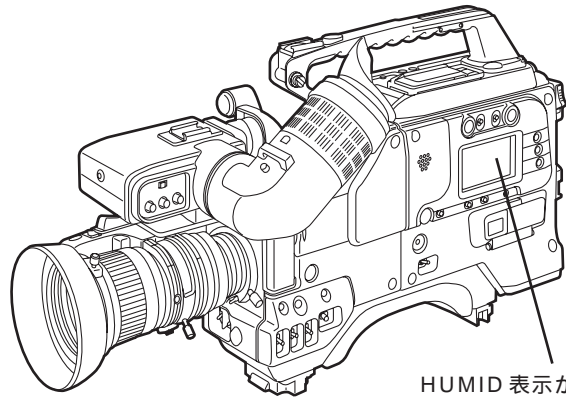
コードNo.	内容
7	異常信号入力
8	ソレノイド異常
9	サーボがロックしていません。
A	結露の発生。
B	供給リールの異常
C	巻取りリールの異常
D	キャプスタン異常
E	シリンダーの異常
F	ローディング異常

# メンテナンス

## 結露

本機を冷たい場所から暖かい場所へ移したり、湿気の多い場所で使用すると、空気中に含まれる水蒸気がヘッドドラムに水滴となって付着することがあります。これを「結露」といい、このような状態のときにテープを走行させると、テープがドラムに張りつきやすくなります。次のような点にご注意ください。

- 結露の可能性がある状況で本機を移動するときは、テープを取り出しておいてください。
- テープを入れる前に、POWER スイッチを「ON」にして、ディスプレイウインドウに HUMID 表示が点灯していないことを確認してください。点灯する場合は、表示が消えるまでテープを入れないでください。



HUMID 表示が点灯していないことを確認する。

## ヘッドクリーニング

ヘッドクリーニングが必要な場合には、クリーニングカセット AJ-CL12MP をご使用ください。

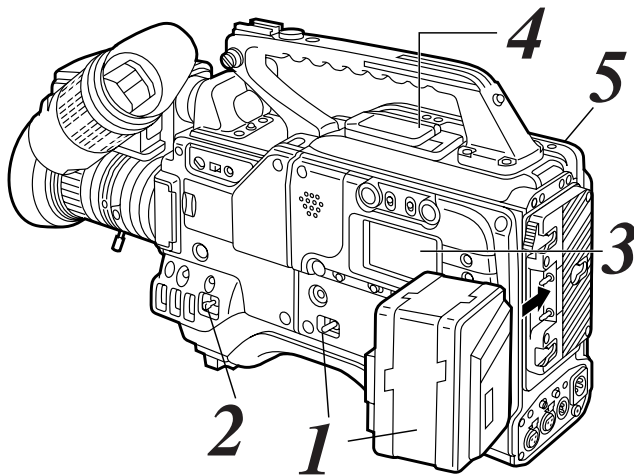
使用方法を誤りますとビデオヘッドを傷めることもありますので、ご使用の際は、クリーニングテープの取扱説明書をお読みください。

## 撮影前の点検

撮影の前に次の点検を行い、システムが正常に動作することを確認してください。

カラーモニターを使って画像のチェックをすることをおすすめします。

### 点検の準備



- 1 充電済みのバッテリーを挿入し、本機の POWER スイッチを「ON」にします。
- 2 カメラ側の DC POWER スイッチを「OFF」「SAVE」「ON」の順に、少し間をおいて切り替えます。
- 3 HUMID 表示が出ないこと、BATTERY 表示が 5 個以上点灯していることを確認します。
  - HUMID 表示が現れたときは、表示が消えるまで待ってください。
  - バッテリー残量表示が 5 個以上点灯していないときは、十分に充電したバッテリーと交換してください。
- 4 カセットホルダー、トップパネル周辺にケーブルなどがいないことを確認した後、EJECT ボタンを押してカセットホルダーを開けます。
- 5 次の点を確認した後、カセットを挿入し、カセットホルダーを閉めます。
  - カセットが誤消去防止状態になっていない。
  - テープにたるみがない。

# 撮影前の点検

## 1. テープ走行の点検

- 1 TCG切り替えスイッチを「R-RUN」にします。
- 2 DISPLAY切り替えスイッチを「CTL」にします。
- 3 カメラ側のVTR STARTボタンを押し、次の項目を確認します。
  - テープのリールが回転する。
  - カウンター表示部の数値が変わる。
  - ビューファインダー内のRECランプが点灯する。
  - ディスプレイウインドウのRF、SERVO表示が点灯しない。
- 4 カメラ側のVTR STARTボタンをもう一度押します。  
テープが止まり、ビューファインダー内のRECランプが消えることを確認します。
- 5 レンズのVTRボタンを使って、ステップ3および4と同じ動作を確認します。
- 6 RESETボタンを押し、カウンター表示部の数値が「00:00:00:00」になることを確認します。
- 7 LIGHTスイッチを「ON」にし、ディスプレイウインドウが照明されることを確認します。
- 8 REWボタンを押し、しばらく巻き戻してからPLAYボタンを押します。  
記録、再生、巻き戻しが正常に動作することを確認します。
- 9 FFボタンを押し、早送りが正常に行われることを確認します。

## 2. 音声レベル自動調整機能の点検

- 1 AUTOスイッチを「ON」にします。
- 2 AUDIO IN切り替えスイッチを「F. MIC」にします。
- 3 AUDIO IN端子につないだマイクを適当な音源に向け、CH 1/CH 2両方のレベル表示が音の大きさに合わせて変わることを確認します。

## 3. 音声レベル手動調整機能の点検

- 1 AUDIO IN切り替えスイッチを「F. MIC」にします。
- 2 AUTOスイッチを「OFF」にします。
- 3 オーディオレベル調整つまみを回します。  
右に回すと、レベル表示が増えることを確認します。

## 4. イヤホン、スピーカーの点検

- 1 MONITORレベル調整つまみを回し、スピーカーの音量が変わることを確認します。
- 2 イヤホンをPHONES端子に接続します。  
スピーカーの音が切れ、イヤホンからマイクの音が聞こえることを確認します。
- 3 MONITORレベル調整つまみを回し、イヤホンの音量が変わることを確認します。

### 5. 外部マイクを使う場合の点検

- 1 外部マイクを AUDIO IN 端子に接続します。
- 2 AUDIO IN 切り替えスイッチを「R. MIC」にします。
- 3 マイクを音源に向け、ディスプレイウインドウの音声レベルメーター、ビューファインダ内の音声レベル表示が音の大きさに合わせて変わることを確認します。  
1本のマイクを各チャンネルにつなぎかえ、チャンネルごとに点検することもできます。

### 6. タイムコード、ユーザービットに関する点検

- 1 必要に応じてユーザービットを設定します。設定のしかたについては「ユーザービットの設定」(32ページ)をお読みください。
- 2 タイムコードを設定します。設定のしかたについては、「タイムコード信号の設定」(30ページ)をお読みください。
- 3 TCG 切り替えスイッチを「R-RUN」にします。
- 4 カメラ側の VTR START ボタンを押します。テープ走行とともにカウンター表示部の数値が変わることを確認します。
- 5 カメラ側の VTR START ボタンをもう一度押します。テープが止まり、カウンター表示部の数値が変わらなくなることを確認します。
- 6 TCG 切り替えスイッチを「F-RUN」にします。カウンター表示部の数値がテープ走行に関係なく変わることを確認します。
- 7 DISPLAY 切り替えスイッチを「UB」にします。設定したユーザービットが表示されることを確認します。

# 接続するカメラによって変わる機能の一覧

本機に接続するカメラによって、機能が一部使えない場合があります。  
次の一覧表を参照して操作を行ってください。

機能	接続するカメラ	松下通信工業 (株)			松下電器産業 (株)
		● WV-F500 ● WV-F565	● WV-F700S	● WV-F250	● AQ-11 ● AQ-20
メニュー設定のキャラクター表示 (35 ~ 39 ページ)					カメラ側のリターンスイッチの操作が必要
映像信号の出力 (29 ページ)				再生時に限り出力 (記録時は映像信号が出力されません)	
カメラ側のボリュームでの音声記録レベル調整 (26 ページ)			×		
パワーセーブモードからの直接記録開始		×	×	×	
レックレビュー (28 ページ)					×
ビューファインダーでの再生画確認 (28 ページ)					カメラ側のリターンスイッチの操作が必要

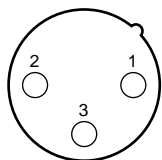
○ : 使用できる機能

● : 一部使用できない機能

× : 使用できない機能

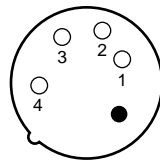
# 接続端子の信号

## オーディオ入力端子 (XLR-3 ピン)



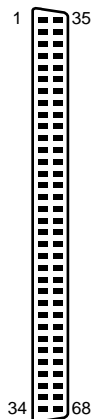
ピン No.	信号内容
1	GND
2	HOT
3	COLD

## 外部 DC 入力端子 (XLR-4 ピン)



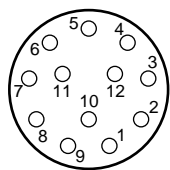
ピン No.	信号内容
1	GND
2、3	
4	+ 12 V

## カメラ/VTR インターフェイス端子 (68 ピン)



ピン No.	信号内容	ピン No.	信号内容	ピン No.	信号内容
1		24	COMPOSITE SYNC	45	REC CHECK
2	MIC Lch 1ch/Hot	25	UNSWITCHD 12 V	46 ~ 48	
3		26 ~ 28		49	TAPE REVERSE
4	PB AUDIO Lch	29	VTR CHARACTER	50 ~ 53	
5	PB AUDIO Lch GND	30	PR	54	VTR WARNING
6	POWER SAVE	31	POWER GND	55、56	
7 ~ 9		32	Y	57	A. BATTERY REMAIN
10	COUNTER RESET	33	POWER GND	58	
11		34	PB	59	
12	RETURN Y	35		60	ENC VIDEO
13	RETURN Y GND	36	MIC Rch 2ch/Cold	61、62	
14 ~ 17		37	MIC GND	63	WIDE
18	ENC VIDEO GND	38	PB AUDIO Rch	64	CAM MIC VOLUME
19		39	PB AUDIO Rch GND	65	POWER GND
20	BATT WARNING	40	VTR START/STOP	66	(Y/PB/PR) GND
21	CTL PULSE	41	REC TALLY	67	POWER GND
22		42、43		68	
23	UNSWITCHD 12 V	44	F250		

## マルチ (12 ピン)



ピン No.	信号内容	ピン No.	信号内容
1		7	ch1 OUT GND
2		8	ch2 OUT
3		9	
4		10	ch2 OUT GND
5	ch1 OUT	11	
6		12	

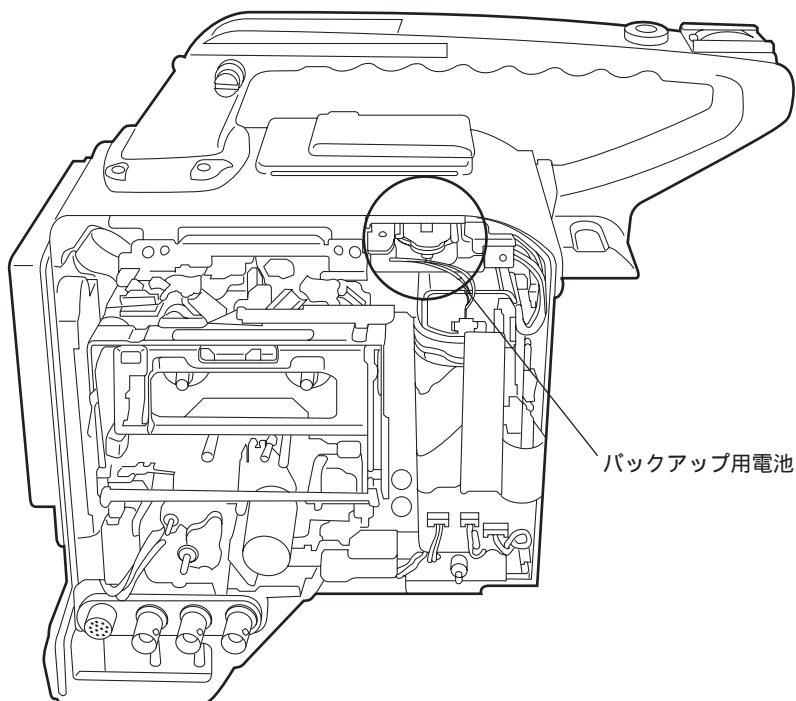
## バックアップ用電池の交換

---

バックアップ用電池は、すでに取り付けた状態で出荷しています。

バックアップ用電池が消耗すると、VIDEO OUT 端子に接続されたモニターに「BACKUP BATTERY EMPTY」の表示が出ます。(ただし、STOPモードとEJECTモードのときのみに表示されます。)

販売店にご相談のうえ、新しいバックアップ用電池(CR2032またはBR2032)と交換してください。





# アフターサービス

## アフターサービスについて

1. 保証書...内容のご確認と保存のお願い  
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入を確かめて、お買い上げの販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
2. 保証期間...お買い上げ日から 1 年間  
取扱説明書および本体貼付ラベル等の注意事項に従った正常なご使用状態で、保証期間内に万一故障を生じた場合には、保証書記載事項に基づき、販売店で「無料修理」させていただきます。保証期間内でも次の場合には、原則として有料にさせていただきます。
  - (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
  - (ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷
  - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷
  - (ニ) その他指定外の使用条件で使用された場合に生じた故障および損傷
  - (ホ) 他の接続機器および接続部材に起因して生じた故障および損傷
  - (ハ) 別に指定する \* 磨耗性の部品、あるいは付属品の故障および損傷
3. 補修用性能部品の最低保有期間  
本機の補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。
4. 修理を依頼される前に  
この取扱説明書をよくお読みのうえ点検していただき、なお異常があるときは、必ず電源スイッチを OFF にしてから、販売店にお申しつけください。
5. ご転居・定期保守サービス等ご不明な点は、お買い上げの販売店にご相談ください。

\* 磨耗性の部品とは、下記部品類です。

- |           |          |
|-----------|----------|
| ● ビデオヘッド  | ● 各種ベルト  |
| ● ピンチローラー | ● ゴムプリー類 |
| ● 各種ブレーキ  | ● ローラー類  |
| ● モーター類   | ● ヘッド類   |

## 定期保守のおすすめ

ビデオは

- 複雑なメカニズムで構成されており、ベルト、ローラー、ヘッドなどが数多く使用されています。
- これら部品は、使用時間が経過するにつれて磨耗劣化し、故障の原因となります。
- また、ホコリ、ゴミなども安定した機能を妨げ、トラブル発生の原因となります。

このため、単に将来の故障発生時に行うアフターサービスにとどまらず、総合的なサービス、即ちビデオシステムの機能を正常に維持させ、消耗部品などによる突発的な故障を未然に防ぐために、保守サービス（メンテナンス）を定期的に行うことが非常に大切であるといえます。定期保守サービス（有料扱い）については、お買い上げの販売店にご相談ください。

# 定格

## 【総合】

電源電圧	DC12V (11.0V ~ 17.0V)
消費電力	15W

  は安全項目です。

動作周囲温度

0 ~ 40

保存温度

- 20 ~ 60

動作周囲湿度

85 %以下 (相対湿度)

重量

2.8 kg (本体、ハンドル含む)

外形寸法 (ハンドル含む)

139.5 (幅) × 277 (高さ) × 305 (奥行) mm

## 【本体部】

映像系 (標準再生機で再生時)

帯域

Y : 30Hz ~ 5.75MHz + 1.0dB/ - 3.0dB

PB/PR : 30Hz ~ 2.75MHz + 1.0dB/ - 3.0dB

S/N

55dB 以上

Kファクター (2T パルス)

2%以内

Y/C ディレイ

20ns 以内

音声系 (標準再生機で再生時)

サンプリング周波数

48kHz (ビデオに同期)

量子化

16 ビット

周波数特性

20Hz ~ 20kHz ± 1.0dB

(設定メニューにおける MIC LOWCUT OFF での  
基準レベルにて)

ダイナミックレンジ

85dB 以上 (1kHz、AWTD にて)

ひずみ率

0.1%以内 (1kHz、基準レベルにて)

ワウ・フラッタ

測定限界値以下

ヘッドルーム

20dB

エンファシス

T1 = 50 μs、T2 = 15 μs (ON/OFF 可)

## テープ走行系

使用テープ

1/4 インチ DVCPRO 用 M カセットテープ

テープ速度

67.640 mm/s (50Mbps 時)

33.820 mm/s (25Mbps 時)

録画 / 再生時間

約 33 分 (50Mbps、AJ-5P33MP 使用時)

約 66 分 (25Mbps、AJ-P66MP 使用時)

FF/REW 時間

約 3 分 (AJ-5P33MP、AJ-P66MP 使用時)

## コネクタ部

### 入力

AUDIO IN CH 1/CH 2 (XLR、3ピン、オス)  
MIC/LINE 切り替え式  
MIC : - 60/ - 50/ - 40dBu、平衡/不平衡、3k  
(メニュー設定可)  
LINE : - 6/0/+ 4dBu、平衡、10k  
(メニュー設定可)

### TIME CODE IN (BNC)

0.5V ~ 18Vp-p、ハイインピーダンス

### 出力

#### VIDEO OUT (BNC)

1.0Vp-p 75

AUDIO OUT (XLR、3ピン、メス)  
+ 4dBu、平衡、ローインピーダンス  
CH1/CH2/MIX 選択可

#### TIME CODE OUT (BNC)

1.5Vp-p、ローインピーダンス

AUDIO CH 1/CH 2 OUT (12ピン)  
- 20dBu、不平衡、ローインピーダンス

PHONES (ステレオミニジャック × 1)

### その他

DC IN (XLR、4ピン、オス)

DC11 ~ 17V

DC OUT (4ピン)

DC11 ~ 17V 最大定格電流 0.1A

カメラ I/F (68ピン)

68ピン以外のI/Fは、アダプターで対応

## 【付属品】

カメラ取り付け用ネジ ( × 2 )  
アントン・バウアー社対応  
バッテリーブラケット ( × 1 )  
バッテリーブラケット用ネジ ( × 4 )  
バッテリーブラケット金具 ( × 1 )  
バッテリーブラケット金具用ネジ ( × 4 )  
SONY 社対応  
NP-1 用ネジ ( × 4 )

## 【関連機器】

### 電源関連

バッテリーパック

AU-BP220、AU-BP402

バッテリーチャージャー

AG-B425 (バッテリーパック AU-BP220、  
AU-BP402 充電用)

バッテリーケース

AU-M402H

AC アダプタ

AJ-B75

### ビデオカセットテープ

DVCPRO 専用 M カセットテープ

DVCPRO 50 専用 M カセットテープ

### 接続ケーブル

マルチコネクタケーブル : SHAN-C12TCA

### オーディオ機器

ワイヤレスマイク受信機 : WX-RA700

### 保守用製品

クリーニングテープ : AJ-CL12MP

---

## 松下電器産業株式会社 ビデオシステム事業部

☎ 571-8503 大阪府門真市松葉町 2 番 15 号 ☎(06) 901 - 1161